
見習い魔法使い君の月の夜
The Apprentice Wizard is on the moonlit night.
R18
Adult only

見習い魔法使い君の月の夜

The Apprentice Wizard is on the moonlit night.

※本作品はR18です。
18歳未満の方の閲覧はお断りいたします。

はじめに

本作の作中に出てくる“魔法”は
独自の解釈・定義づけをしています。

実際の“魔法の定義”とは異なる部分がありますので、
諸々違和感があっても大目に見ていただけますと幸いです。

登場人物と前回までの概要

エドワード

見習いの魔法使い。魔力バカだということが最近判明。
女性の扱いには極めて不慣れ。

ブルーベル

人間の女の子。
幼少期に魔物に呪われ、肉体を失っていた。
エドワードに保護されたのち、約10年かけて人間の姿を取り戻した。

師匠

エドワードにとっての魔法の師匠に当たる人物。
エドワードの工房を訪れる際は、使い魔として動物の姿を借りている。


新月の夜
僕は彼女を抱く


ぐちゅっ
あ♡
はッ
ぐちゅっ
あ♡
はッ
あ♡
ぐちゅっ


あッ♡あ♡あ♡
はッ
ぱぁっ♡ん♡
あぅ♡
ぐちゅぐちゅ


長い間
肉体を失っていた
人間の女の子
彼女の身体を
維持するため
僕の魔力を
性交(こう)して
分け与える
ふ
は


ん♡
ぴちゃ…
ぺろぺろ
ぺろ
なめ
ぺろ
ぺろぺろ
ぺろぺろ
ぺろ


はぁっ…
体勢
だ
…大丈夫？
は
は
は
ぷっ
んっ…♡
だい
じょうぶ…
ぷっ
っ…
ぷっ
や♡
あっ♡
あっ♡
ズプッ
ズプッ
ひくっ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
あっ♡
あ♡
あ♡
ん…
はぁ
うしろ
むいて
くれる…？


あッ♡
あんっ♡
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
や…ッ♡
なっ♡
はッ
はッ
あッ♡
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ブル
ベル…っ
ぱちゅっ
でる…
だ
射精すよっ…
ぱちゅっ
ぱちゅっ
うんッ
んんッ♡
ぴくっ
みたみたみたっ
みたっ
ぴくぴくぴくっ♡
ぴくっ♡
んッ♡
んッ♡
んッ♡

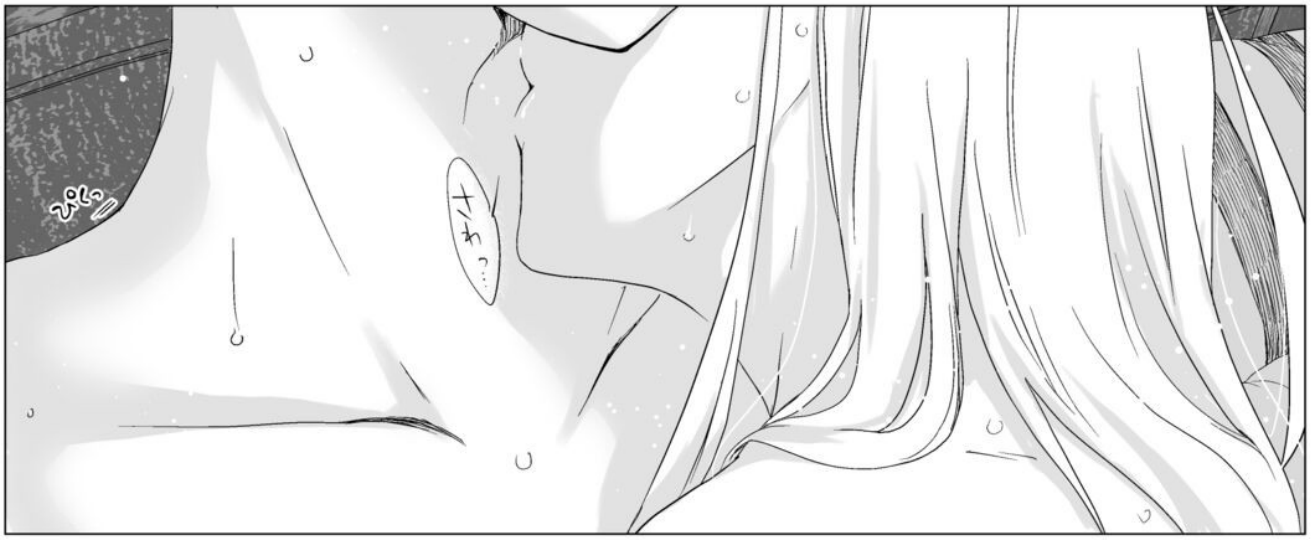


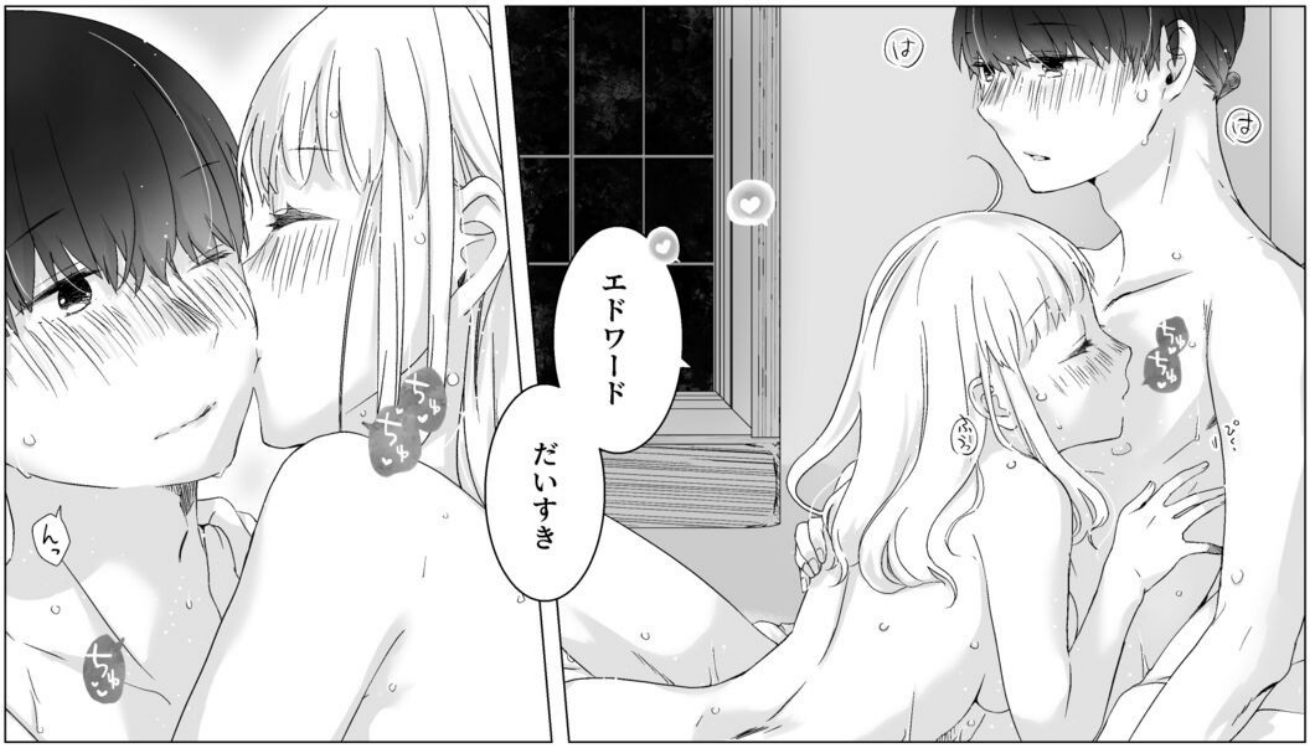
『精液をまるごと
魔力にして
体内に補給する』

それが
魔法使いである
僕の役目であり



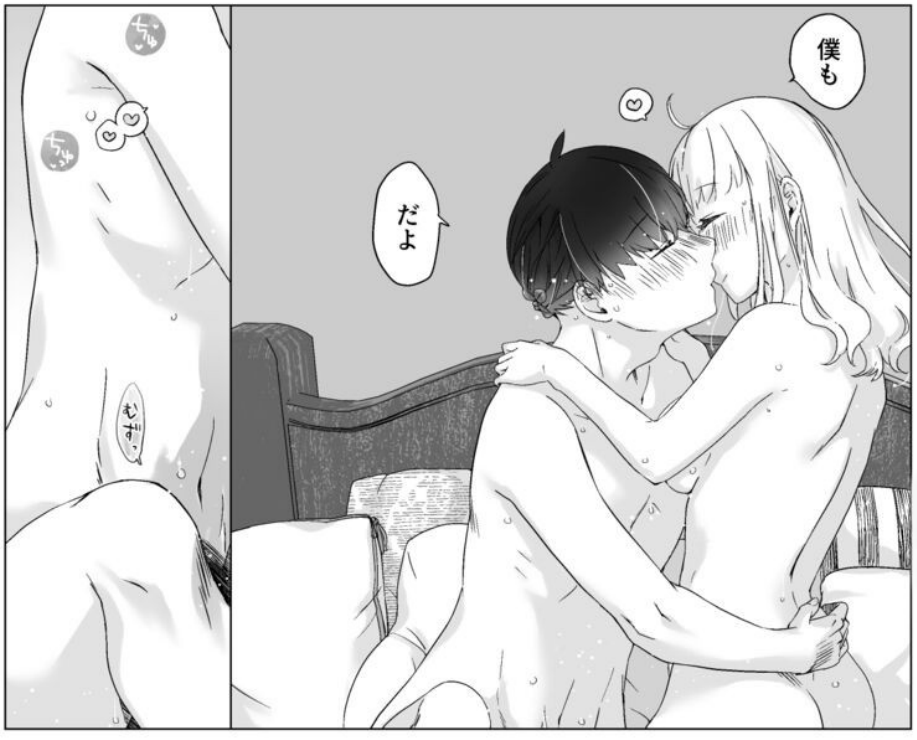








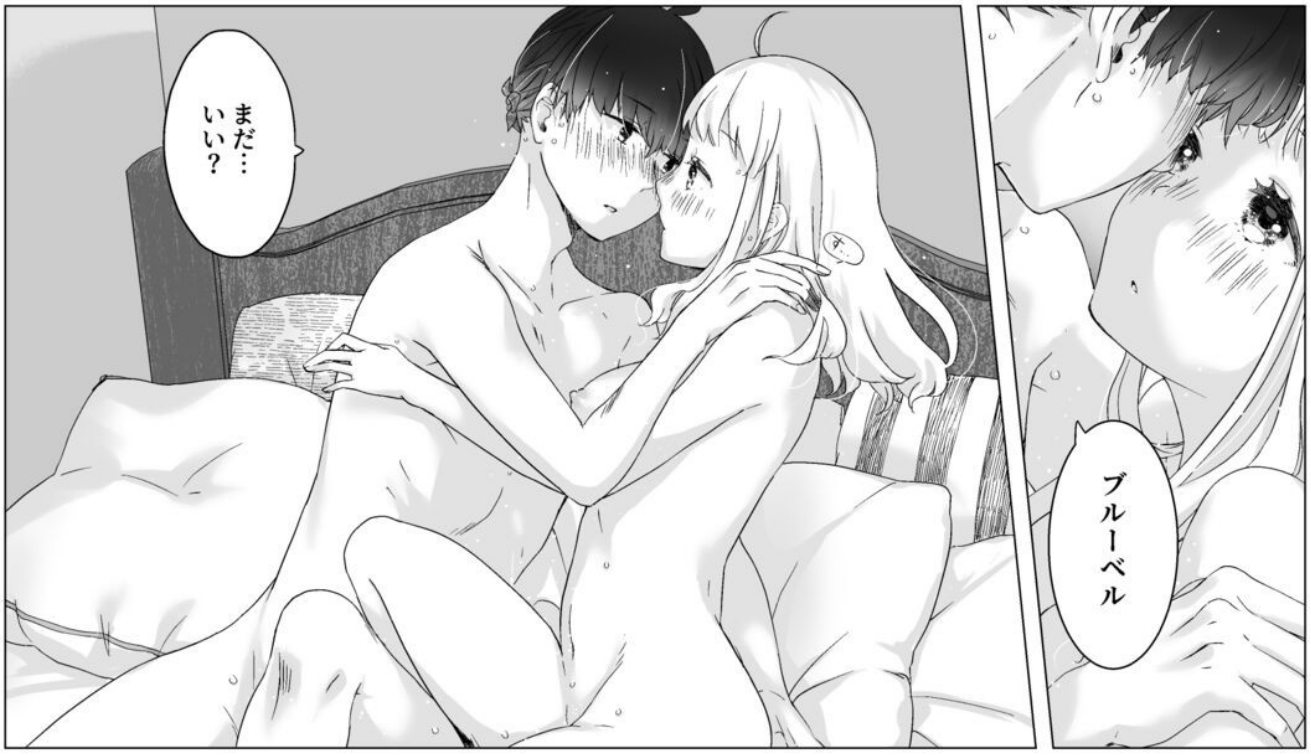




自分のことを
こんな風に
愛してくれる
女の子がいるなんて

こんな
こんな幸せな
時間があるなんて


……
…一晩で何回もするの
癖にしちゃいけない気がするけど…
…でも


まだ…いい？
ブルーベル


んー♡
うん
エドワードの好きなだけ
して？


今だけは
目一杯
ブルーベルと
一緒に
この夜が
ずっと
終わらなければ
いいのに
…ん…


——おはよう
ブルーベル
体調は平気？
んー…
へーきだよー…
良かった
まだ早いからもう少し寝てていいよ
…うん…
そうするー…
キィ…
パタン
僕達の性交は魔力補給をするためでもある
——だからブルーベルの身体が安定するまでは



"魔力量が減少する
新月の夜"
が過ぎたら

いつもの
暮らしが
始まる

普段の
ブルーベルへの
魔力補給は
毎朝一度

性交よりも
簡単な
「日課」をする

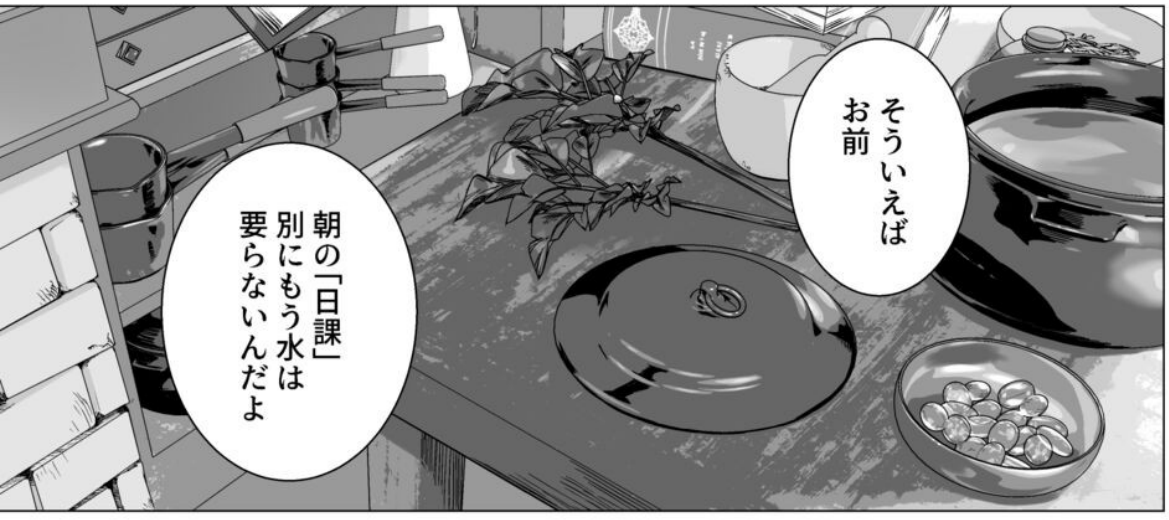




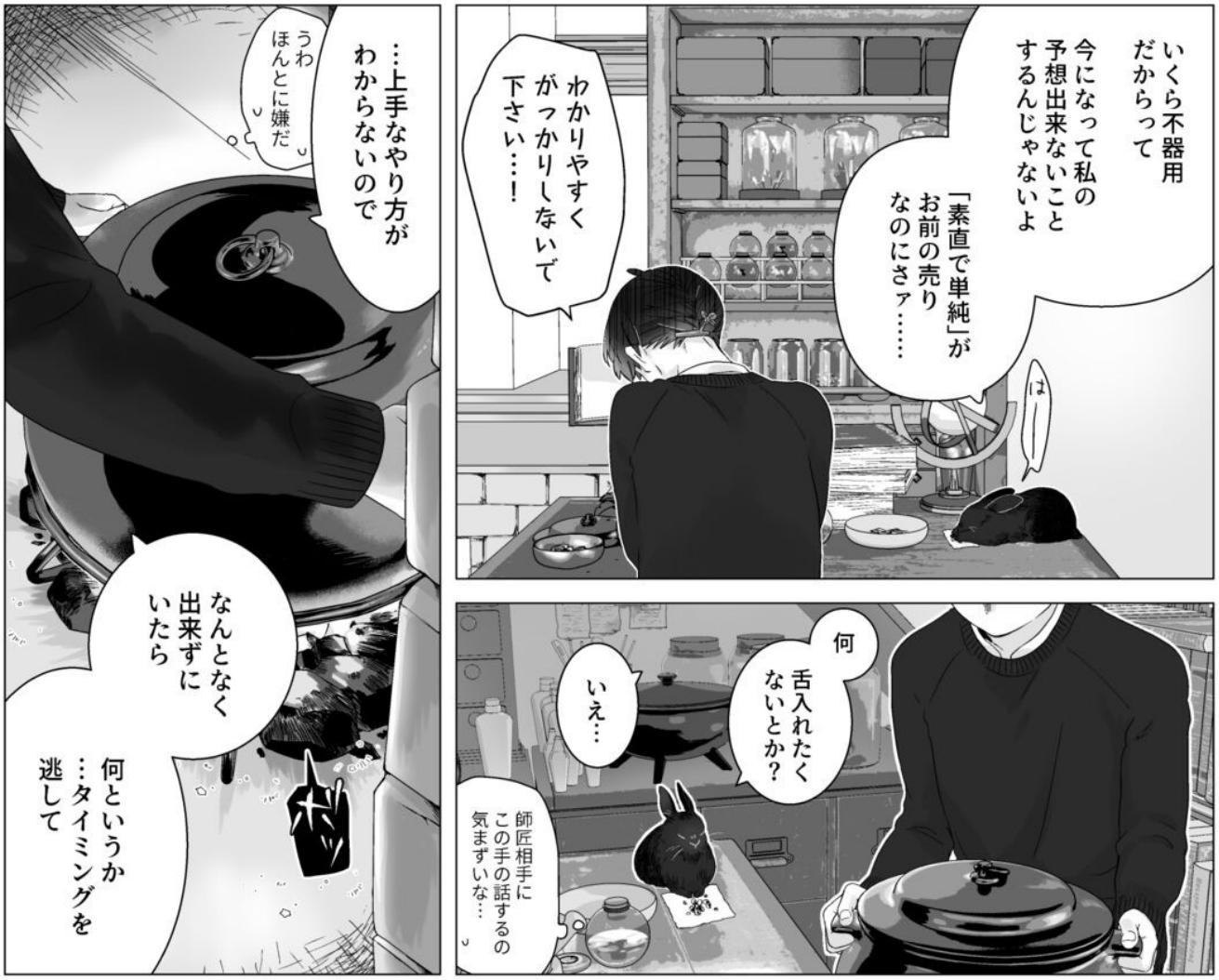



…今日の体調はどう？
ん
んー♡
この笑顔が
もう……!!
ギュウ
そしてハグ
ぱたん
ガッ
あ
おはようございます
はいおはよう
師匠が朝に来るの珍しい…
というか久しぶりですね
今日はうさぎだ
遠慮してるんだよ
一応ね
とっ
？
…
…
あっ


えと
その…
お気遣い
ありがとう
ございます…
そう
馬鹿正直に
返すんじゃない
もぞ
まぁ
いいけど…
ちょっと
お前の工房
使わせてくれないか
(あ)
はい
どうぞ
ししょう!
おはよー
ございます!
はい
おはよう
僕も何か
手伝いま
しょうか?
そうだな
頼もうか
朝食まだだろ?
ゆっくり摂ってからで
構わないから
はい
もすもすもす


そういえば
お前
朝の「日課」
別にもう水は
要らないんだよ

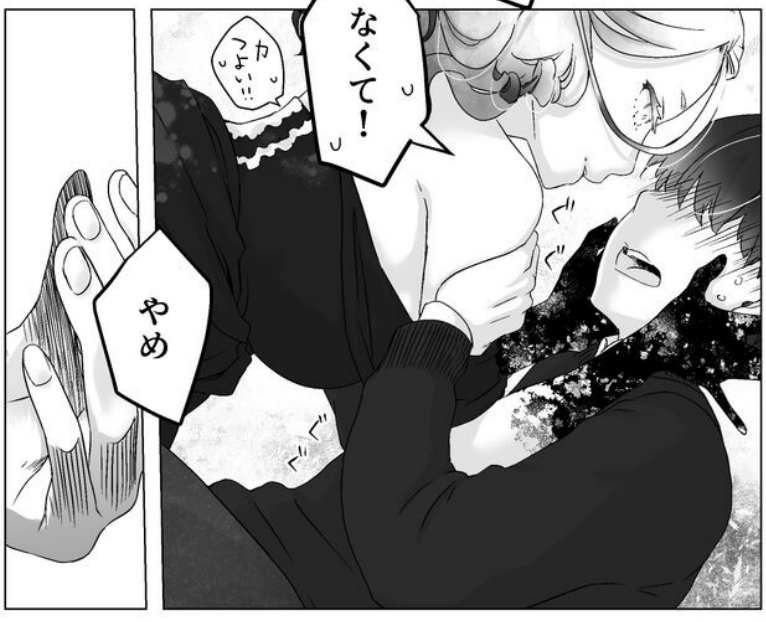

……
最初の時は
ブルーベルの
意識が
なかったから
水を口移し
したってだけで
意識があるなら
必要ないんだ
……いえ
何か飲ませないと
魔力を
あげられない
ので…
何でだい
唾液がある程度
移ればいいんだから
少し長めにキス
すれば――
……
……
…エドワード
お前さぁ…


いくら不器用
だからって
今になって私の
予想出来ないこと
するんじゃないよ
「素直で単純」が
お前の売り
なのにさァ……
わかりやすく
がっかりしないで
下さい…！
ぱー
何
舌入れたく
ないとか？
いえ…
師匠相手に
この手の話するの
気まずいな…
…上手なやり方が
わからないので
うわ
ほんとに嫌だ
なんとなく
出来ずに
いたら
何というか
…タイミングを
逃して


何だ
やり方が分からないのなら
練習すればいいだけだろ
ほい
ボフッ
!?!?
なにっ!?
何やってん
ですか師匠!!
え


大丈夫だよ
ただの幻想だから
サキュバス
だけど
幻想でも
ダメなやつ
ですそれ!!


そっち
見ないように
してやるから
そ
そういう
ことじゃ


なくて!
かよい!!
やめ


駄目です
師匠
絶対に

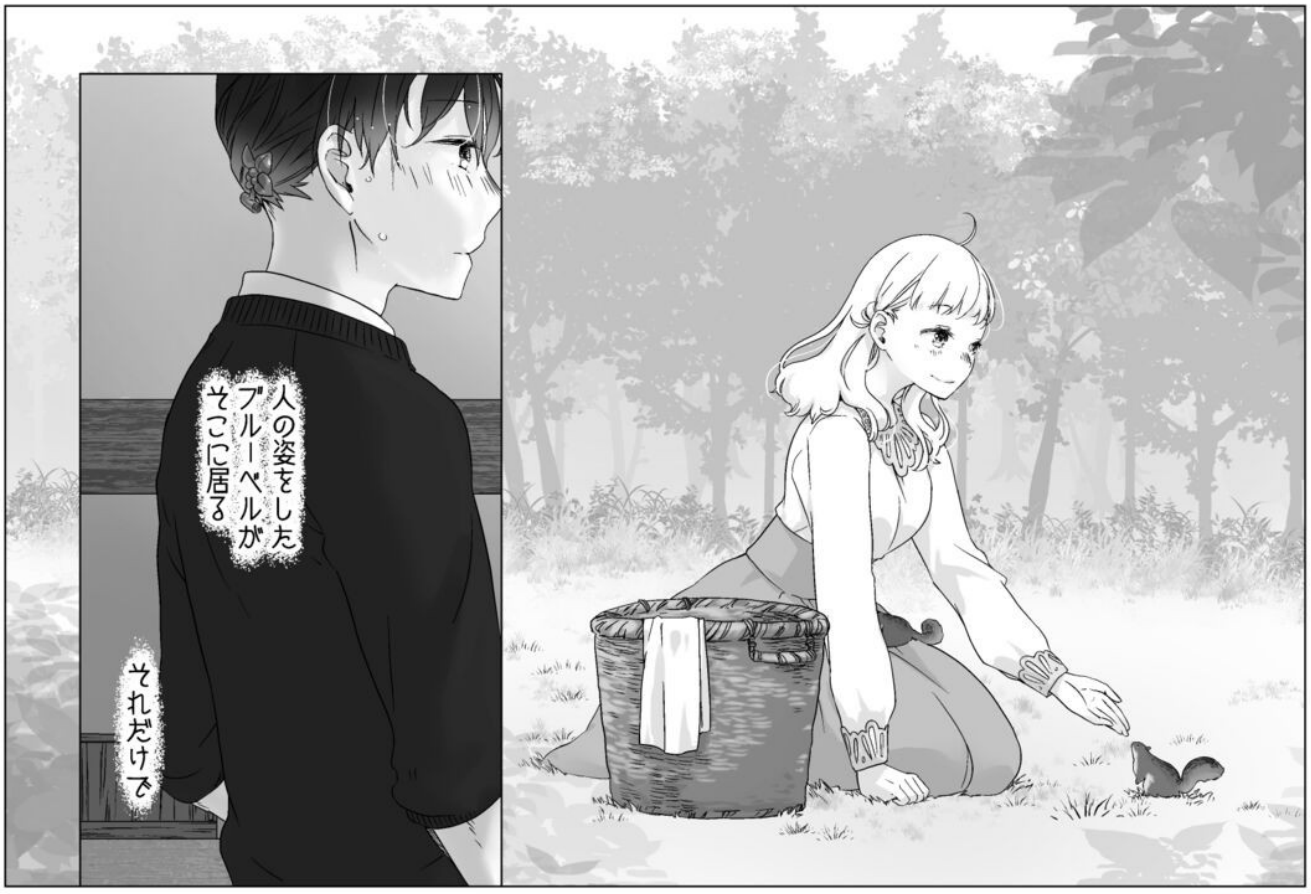

…一途なのは
結構だが
魔法使いが
純情なんてのは
碌(ろく)なことがないぞ


まあ
お前の場合
その魔力量で
ある程度の事は
何とかなるとしても―


すいませ
師しょっ
これっ
消えないん
ですけどっっ
ぐぐぐぐぐ…
…見習いが
嫌なら
自分で何とか
するんだな
わ―
!!


ピシャ

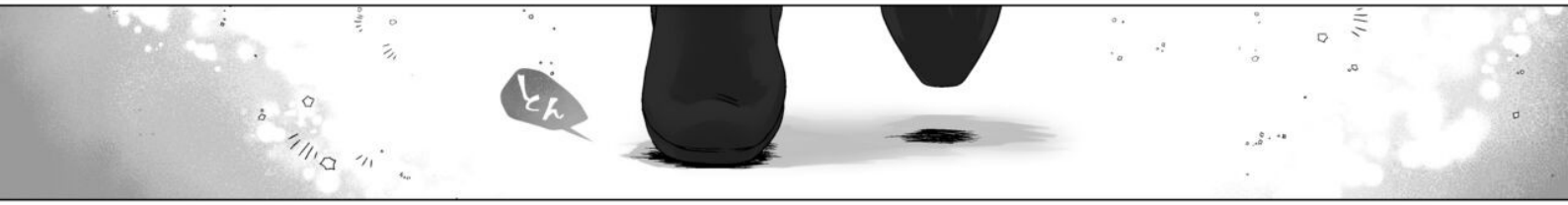

ふ――っ
あの師匠は
ほんとにもう…


人の姿をした
ブルーベルが
そこに居る
それだけで


胸が
苦しくなる程
僕は幸せだ
キィ

数日後――


ゆら…

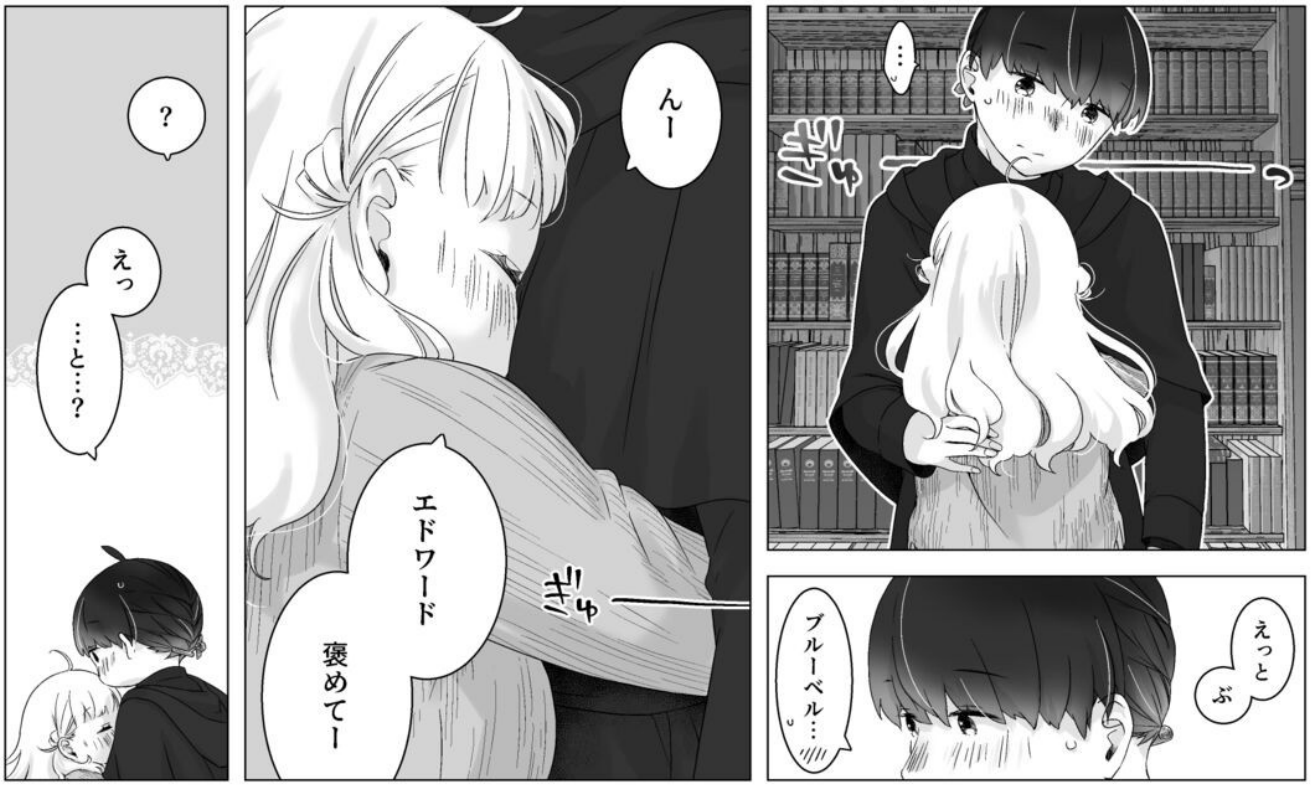

とん


とん
とん


おかえりー


ただいま
ブルーベル
今日は
もう
おうち？
―うん
そうだね
集会も早く
終わったし
仕事も
区切れてるから…
ん…♡
ぎゅっ

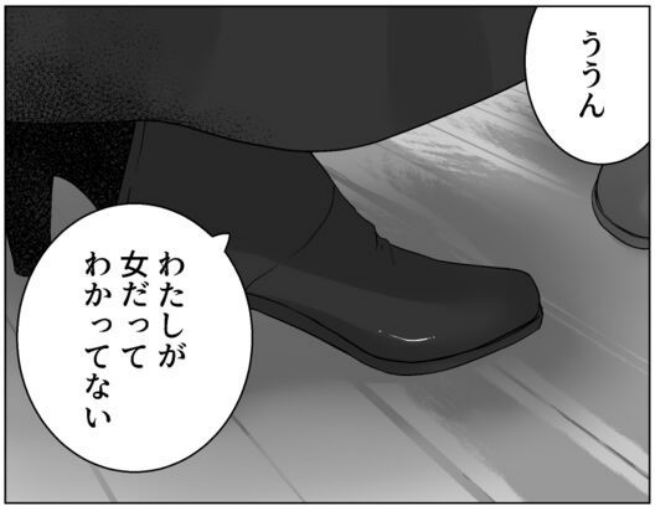

ぎゅ

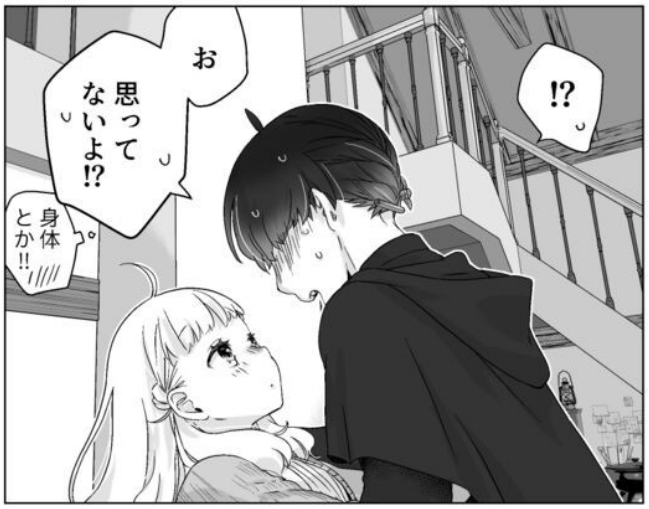

…
ぎゅ
えっと
ぶ
ブルーベル…
んー
エドワード
褒めてー
ぎゅ
？
えっ
…と…？


最近ね
忙しそうだから
エドワードに
ぎゅってするの
我慢してたの
褒めてー


あ
…うん
そっか
その
褒め？
……ありがとう
ぎゅう


…服
着替える
から…
ぎゅ
っ
…いや
だめだよ
ここで
離れて
おかないと
…
着替えて
くるね
よし
よし
エドワード
うん？
わたしのこと
子供みたいだって
思ってる？


ううん
わたしが
女だって
わかってない

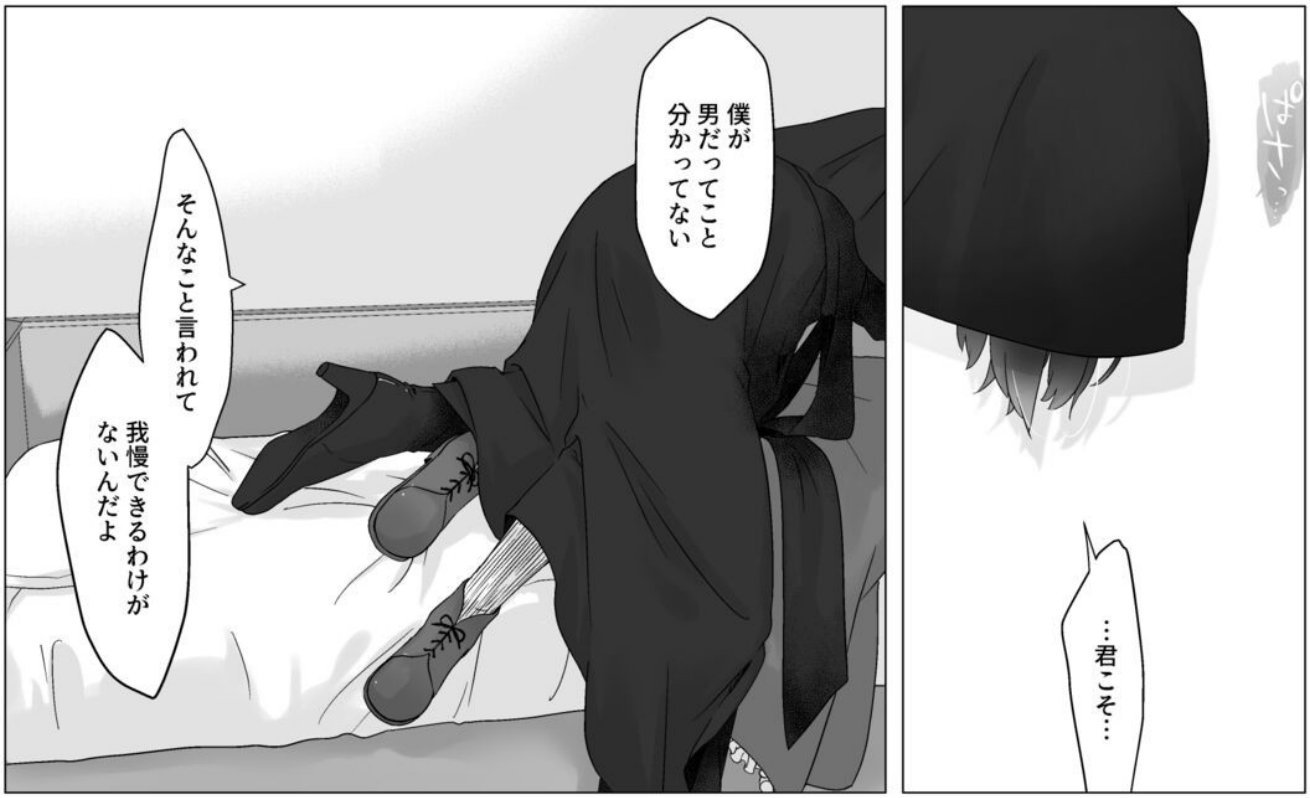

!?
お
思って
ないよ!?
身体
とか!!


わたし
だってね
ちゃんと
好きな人と
もっといっぱい
キスしたいって
いっぱい
ぎゅってして
欲しいって
思ってるの




せっくす
だって
もっと
してほしい…



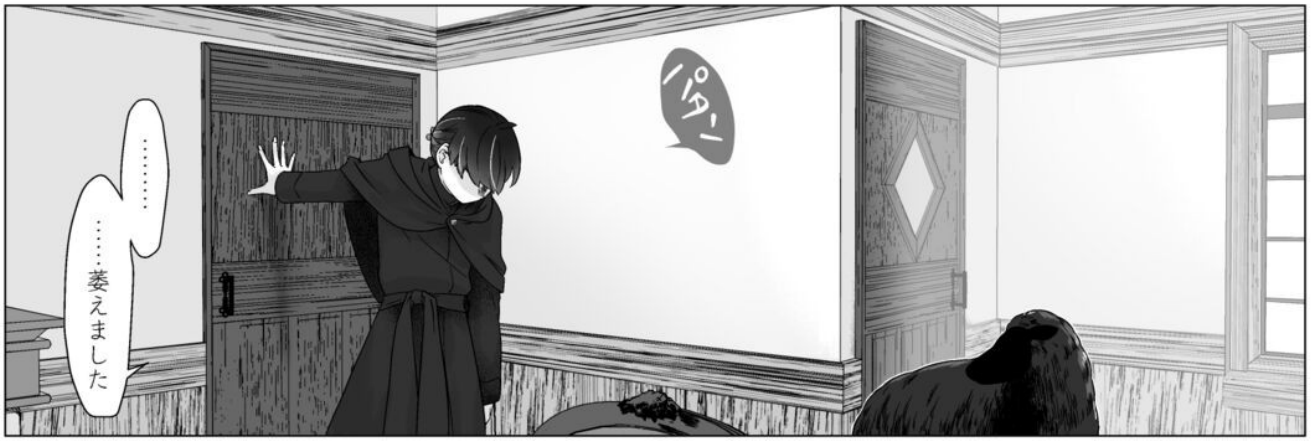

…君こそ…
僕が
男だってこと
分かってない
そんなこと言われて
我慢できるわけが
ないんだよ


毎日
毎日
一緒にいて
どれだけ僕が
耐えてたか
新月の夜が
どれほど
待ち遠しいか


次の新月まで
まだ
11日もある
けど


いいよ
続けて
っ
っっ!!
……
なんだい
こんな時間から
盛り上がってる
なんて
知らなかったんだ
!!
それに
弟子の成長を
見届けたい
師匠心じゃないか
!!
けち
ぴょーーい
バタン
最後のが
本音でしょう
ふぅ…


ふう
キィ
…


パタン
……
……萎えました


…根性なしめ
誰のせいですか

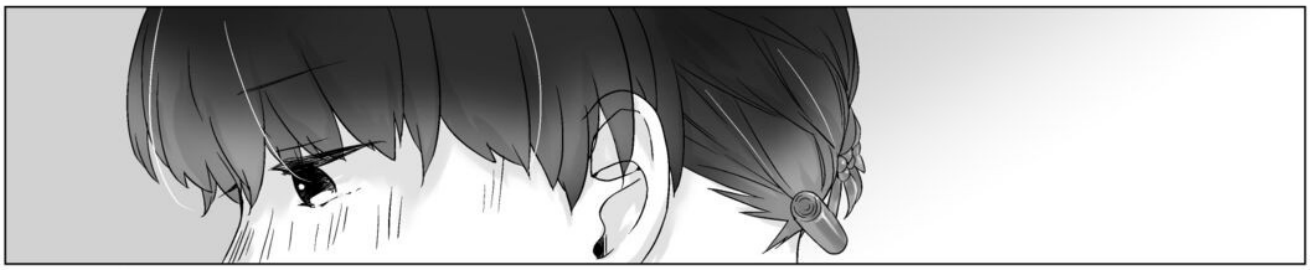

私を締め出してまで
やめなかったのは
成長したなと
思っていた所
だったのに
師匠の感心を
返してくれないか
…それは
すみません…


ドッ


キィ







…はい

きっと
ブルーベルには

「仕事が忙しい」
ってことにして
ちょっと距離置いてたの
多分 ばれてたんだ

…実際
ちょっと
忙しかった
んだけど

でも

そのせいに
して

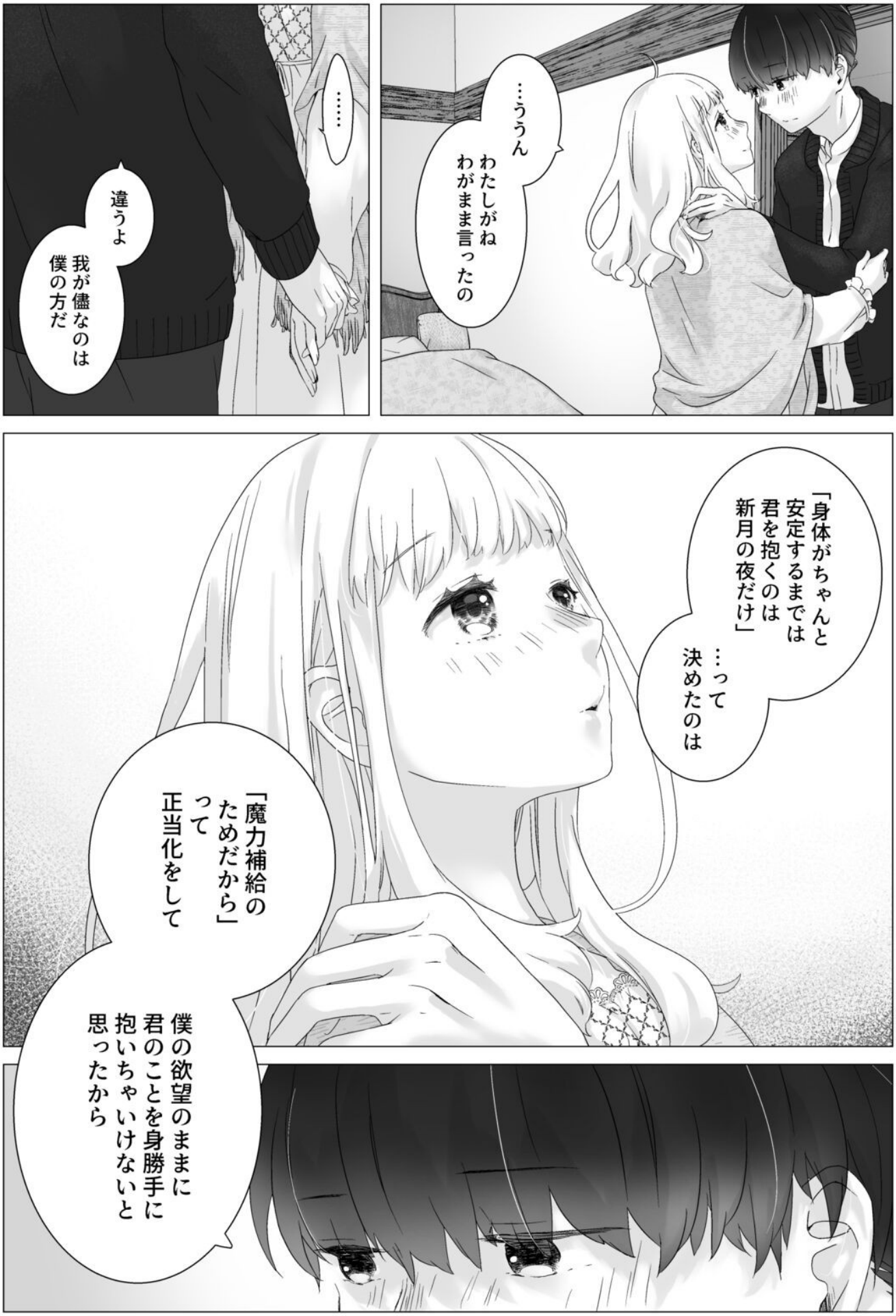
今の僕にとっては
ブルーベルが
何よりも大事で

――大事だ、から

エドワード


わたし
もう
寝るねー
あ
エドワードも
早く
休んでね
うん…
…え
――おやすみ


…ああ
部屋の
隠蔽魔法
忘れてる
けど
もう
…いいや
もし今
師匠が
現れたとしても
昼間の
こと
…怒ってる？

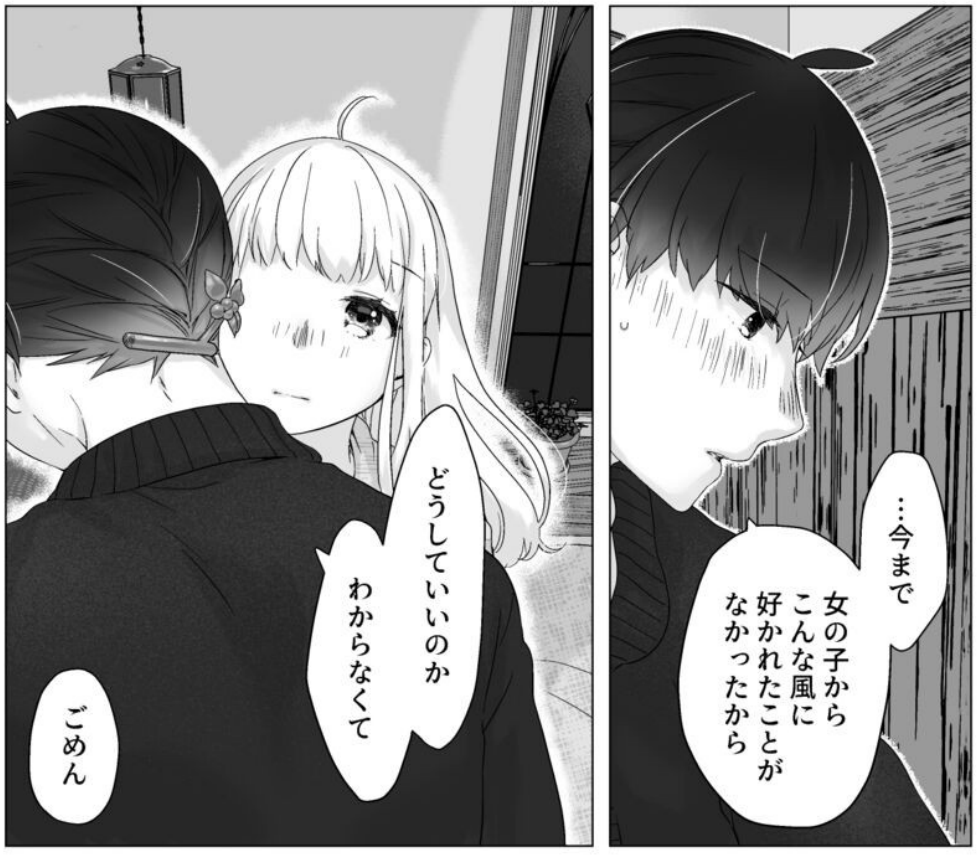

…ううん
わたしがね
わがまま言ったの
……
違うよ
我が儘なのは
僕の方だ
「身体がちゃんと
安定するまでは
君を抱くのは
新月の夜だけ」
…って
決めたのは
「魔力補給の
ためだから」
って
正当化をして
僕の欲望のままに
君のことを身勝手に
抱いちゃいけないと
思ったから


っていうのは
建前で
ただ
意気地がなかったんだ
頭の中も
生活の全部も
君のことで
いっぱいになって
他のことも
仕事も
なにもかも
出来なくなって
しまいそうで
ストップを
かけてた


…ううん
でも
きっとそれも
言い訳で…




…正直に言うとね
自信がないんだ
知ってると思うけど
ブルーベルは
僕の初めての
恋びと
だからっ…


…今まで
女の子から
こんな風に
好かれたことが
なかったから
どうしていいのか
わからなくて
ごめん
んー……
うん


んー
えっと…
ぎゅ
うっ
えっとね


エドワードが
いっぱいいっぱい
気遣ってくれてるの
ちゃんと
わかるよ
そういう
優しいとこ
大好き
でもね
それが遠慮だったら
ひとつも
しなくていいの


あなたに
わたしの
こと
好きでいてほしい



――いま腑に落ちた

ブルーベルは

僕と性交しない事が寂しいんじゃなくて

僕が求めない事を不安がってたんだ

…それなら大丈夫

君のこと

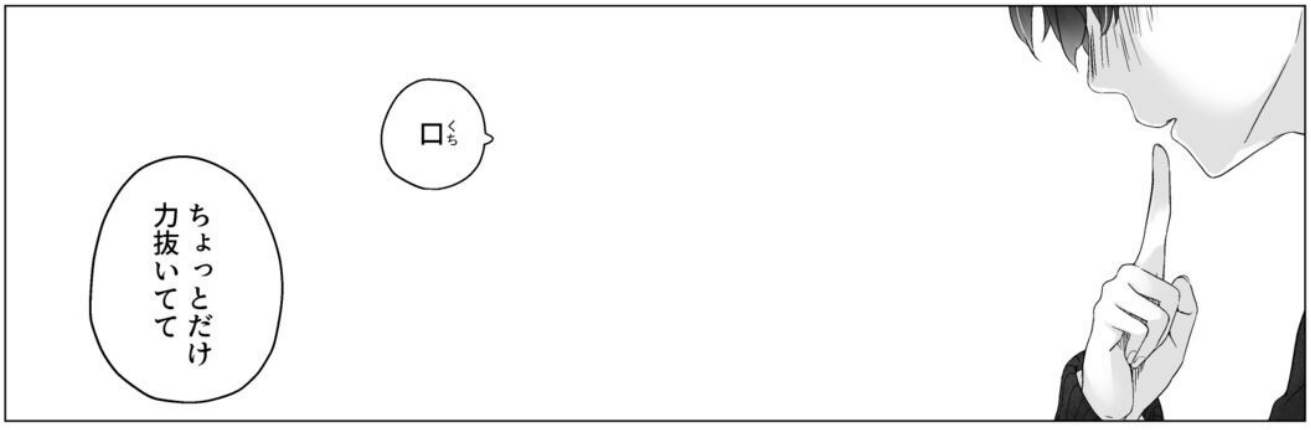
今までもこれからも

誰よりも好きでいる



……

ブルーベル

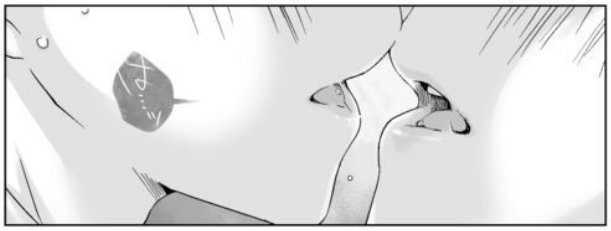


口（くち）

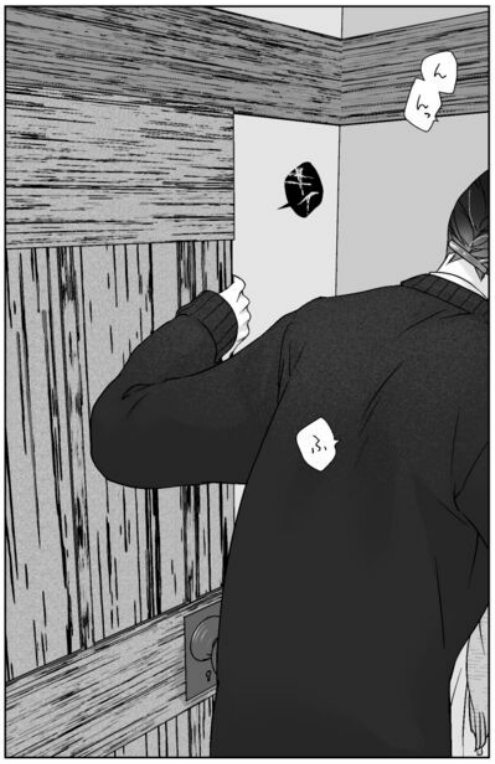
ちょっとだけ力抜いてて


ふ
スタッ…
ふむ…っ


ん
んッ
ちゅ
――きっと
全然上手くなんか
できてない
けど
もう
頭の中が
体中の血液が
どうにもならない位
沸騰しそうで――

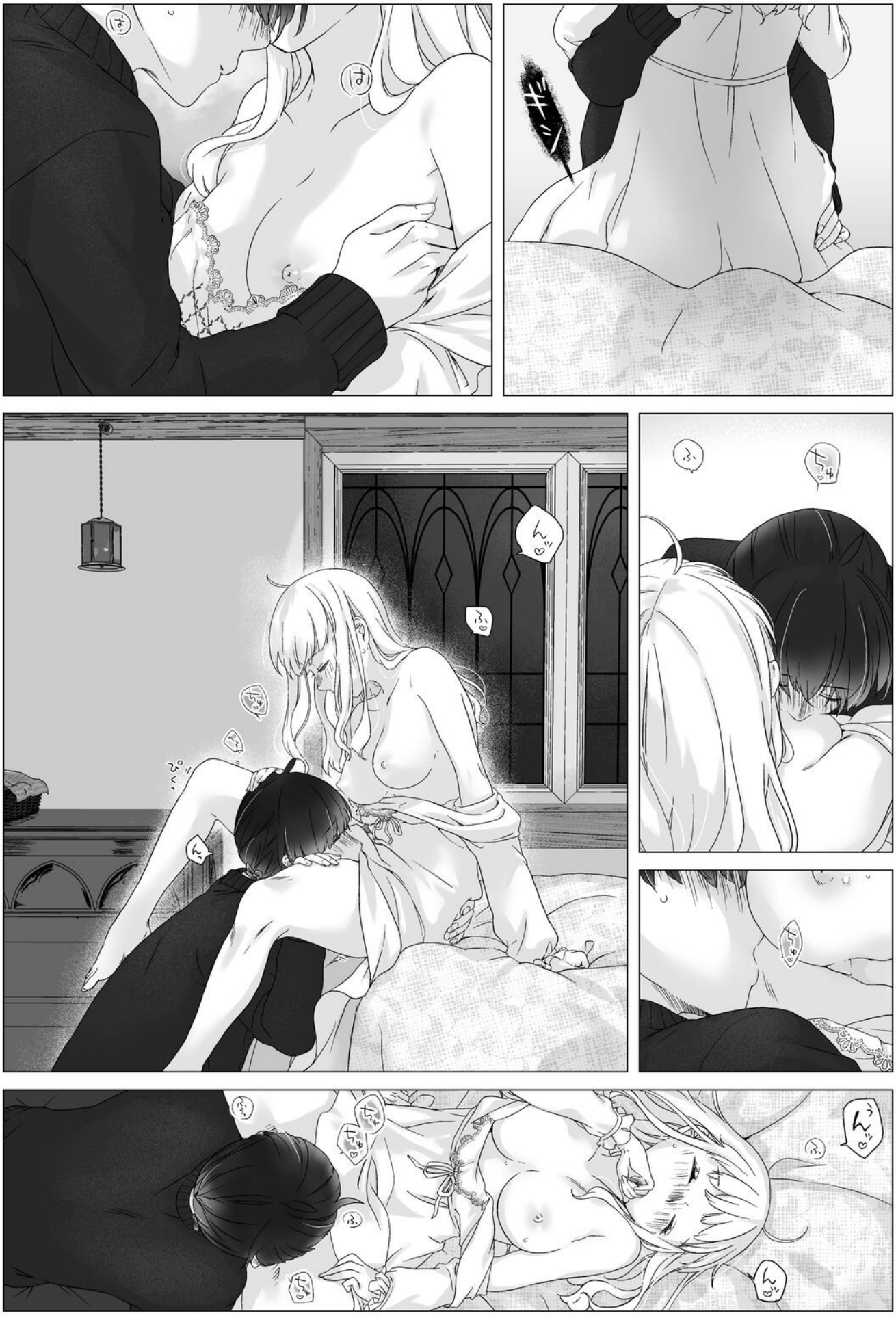

は…ッ


…今のは
魔力補給の
ためじゃないよ
は


ん…っ
ふ


ガチャ
!?

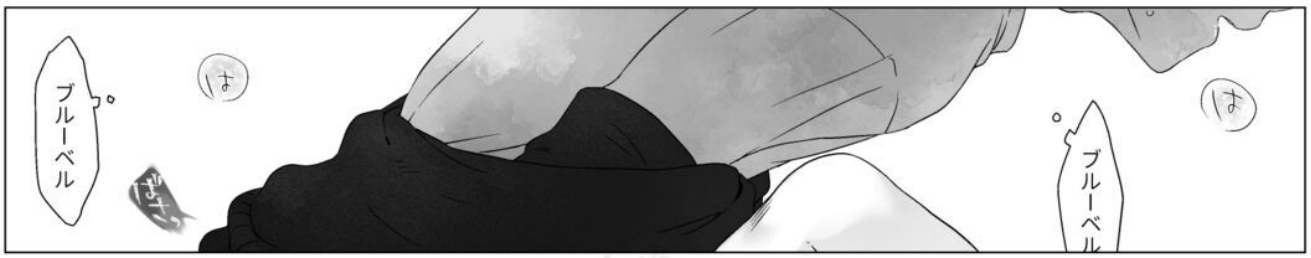

声
勝手に…
もっと
大人の男らしく
したいのに
そんな余裕
ない
するっ


は
は
ふ
ちゅ
ふ
ちゅ
ふ
ちゅ



いつもと違う

興奮していくのが速い

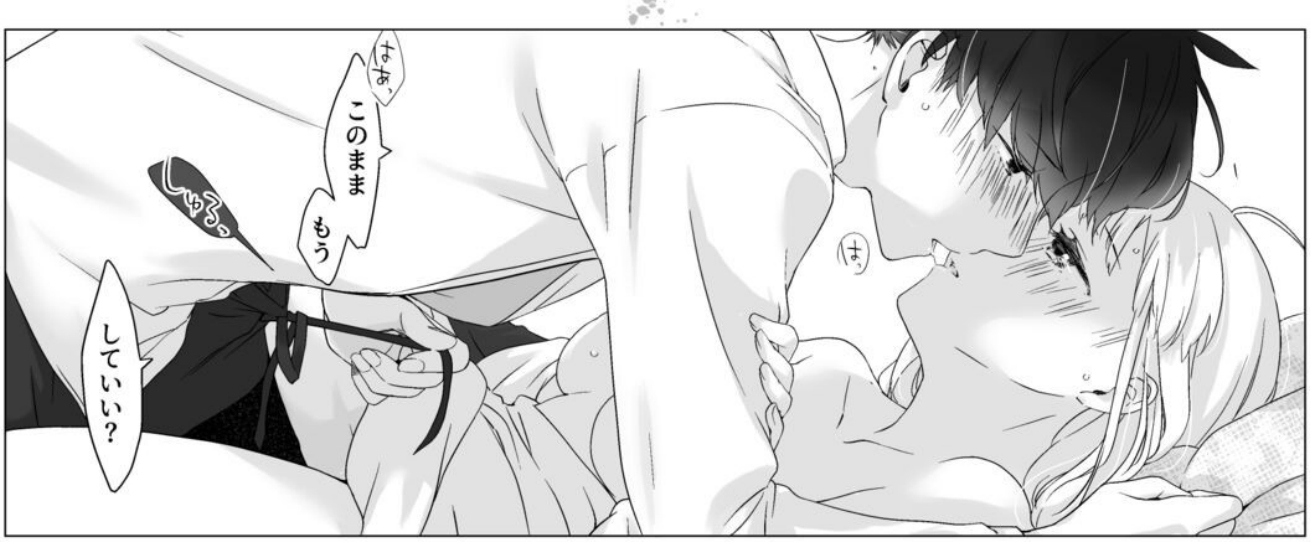


我慢



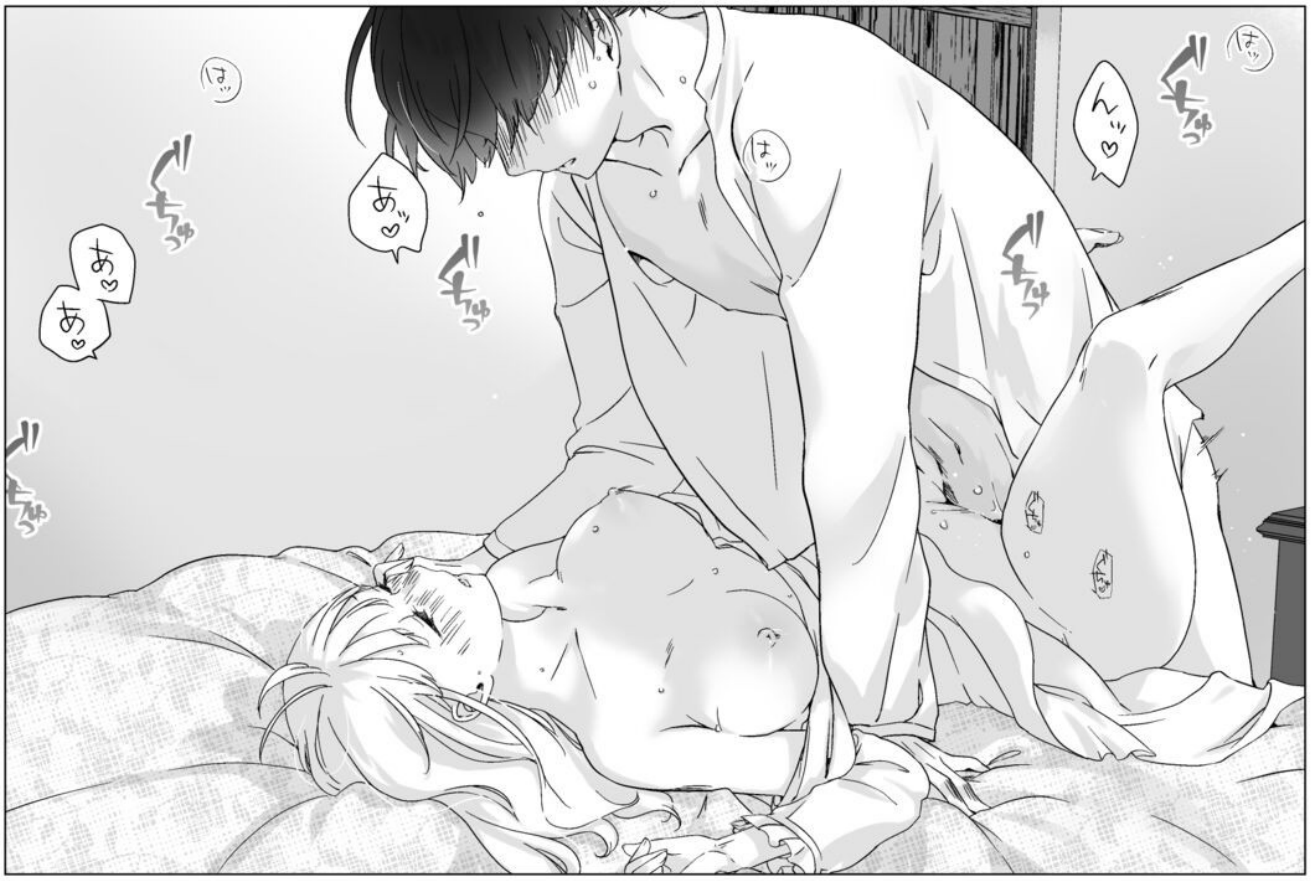


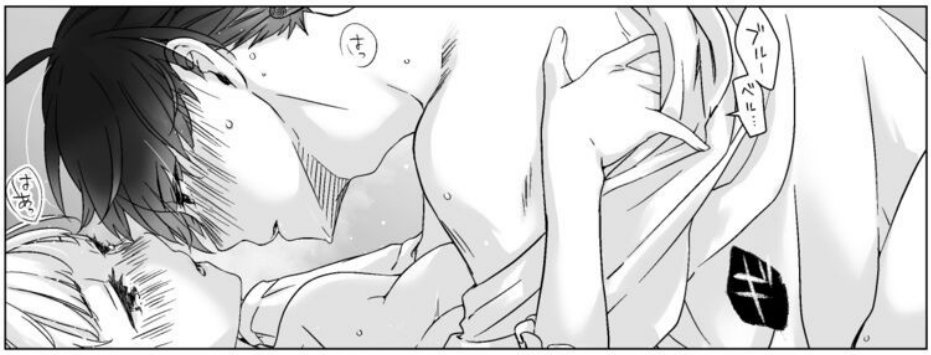
が…

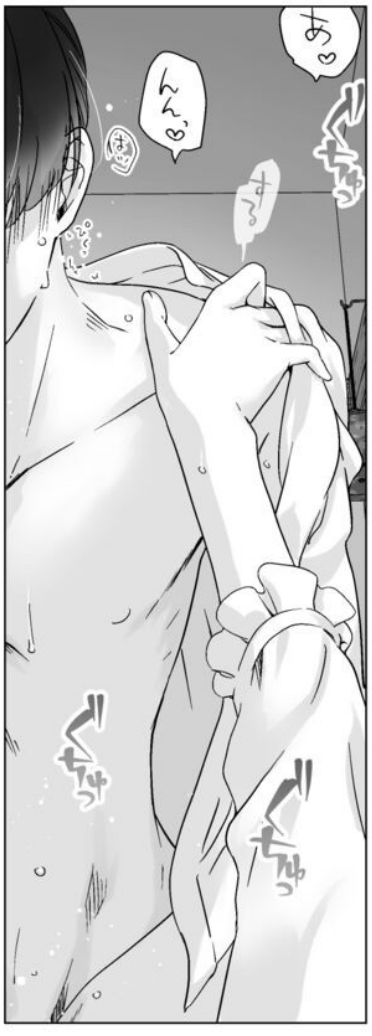



ん…
いいよ
エドワード
いま すぐ


ブル…
ベル
っく…
いつも僕ばっかりだから
今日は君の好きなだけ
君が満足するまで
――ふたりで
あ♡
あん♡


はッ
んぅ♡
ぐちゅっ
はッ
あぁ♡
ぐちゅっ
あぁ♡
ぐちゅっ
はッ
ぐちゅっ


はっ
ぁ…
はぁ…


あ♡
んぅ♡
はぁ…
ぐちゅっ


ふ…
んぅ♡
ぐちゅっ
んぅ♡
ぐちゅっ
んぅ♡
ぐちゅっ


服
邪魔だ


エ
エドワード
ぱちゅっ
ん…っ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
エドワード
うん
エドワード…っ
ぱちゅっ
うん
愛してる
ブルーベル
ぱちゅっ
この女の子を
愛するのも
守るのも
幸せにするのも
いっしょに…
エドワード
全部、僕だ

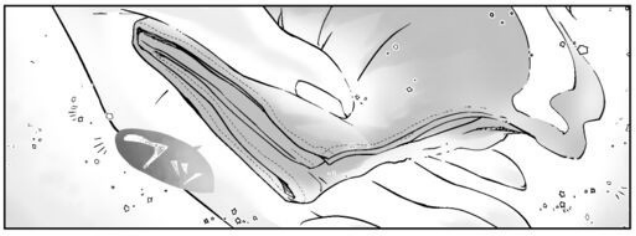

ふ…っ
ブルーベル
もう
いッ…
ぴく
ぴく
ぴく


…っう…
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる







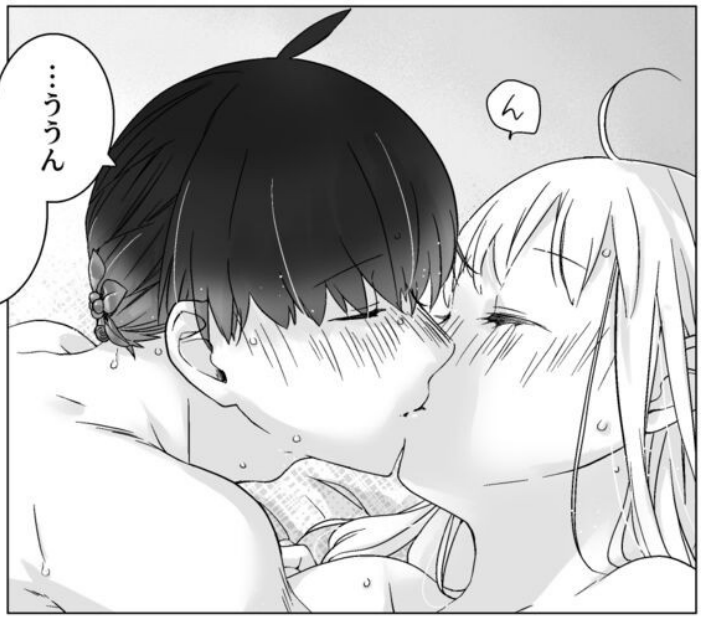


本来の
セックスのかたちを
「僕の責任」を
自覚しておかないと









今夜は
君の望むとおりに

いつか
魔力補給の
必要が
全く
なくなったら

その時には
本当に

きっと





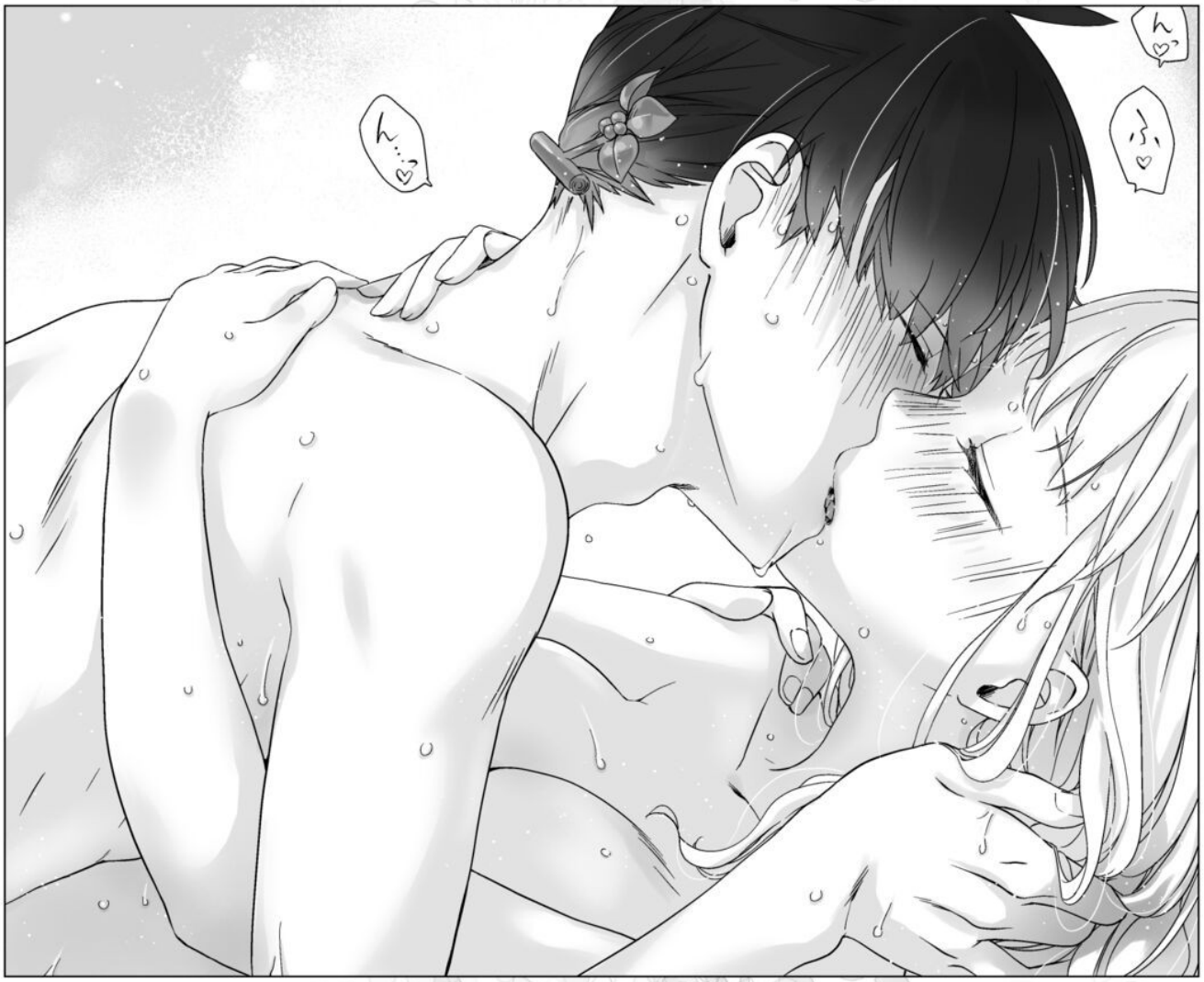

ん♡
ふ…
ぷんっ
あ
はっ…♡
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ん♡
たぷっ♡
ん…
ブルーベル
いつもより
積極的に
自分で…
あ♡
はっ♡
はっ
でも
ん♡
どうにか
なりそうな
くらい
気持ち
いい…！


僕だけじゃだめだ
はむっ
ね
エドワード
気持ちいい…？
…うん
……すごく…


はぁ…
はぁ
ん…
んー♡
…しあわせ…
あっあっ
あぁ♡
えっ
エドワード
なんだか
きょうっ
はげ
し…


…！
ごめん
嫌だった？
くた…
ううん…
いつもと
ちがう
エドワード
だから
なんだか
うれしいの
…ブルーベルが
ぐっ
気持ち
良さそうに
してくれてるのを
もっと
見たくて…
ねエドワード…
さっきの
キス
ちょうだい

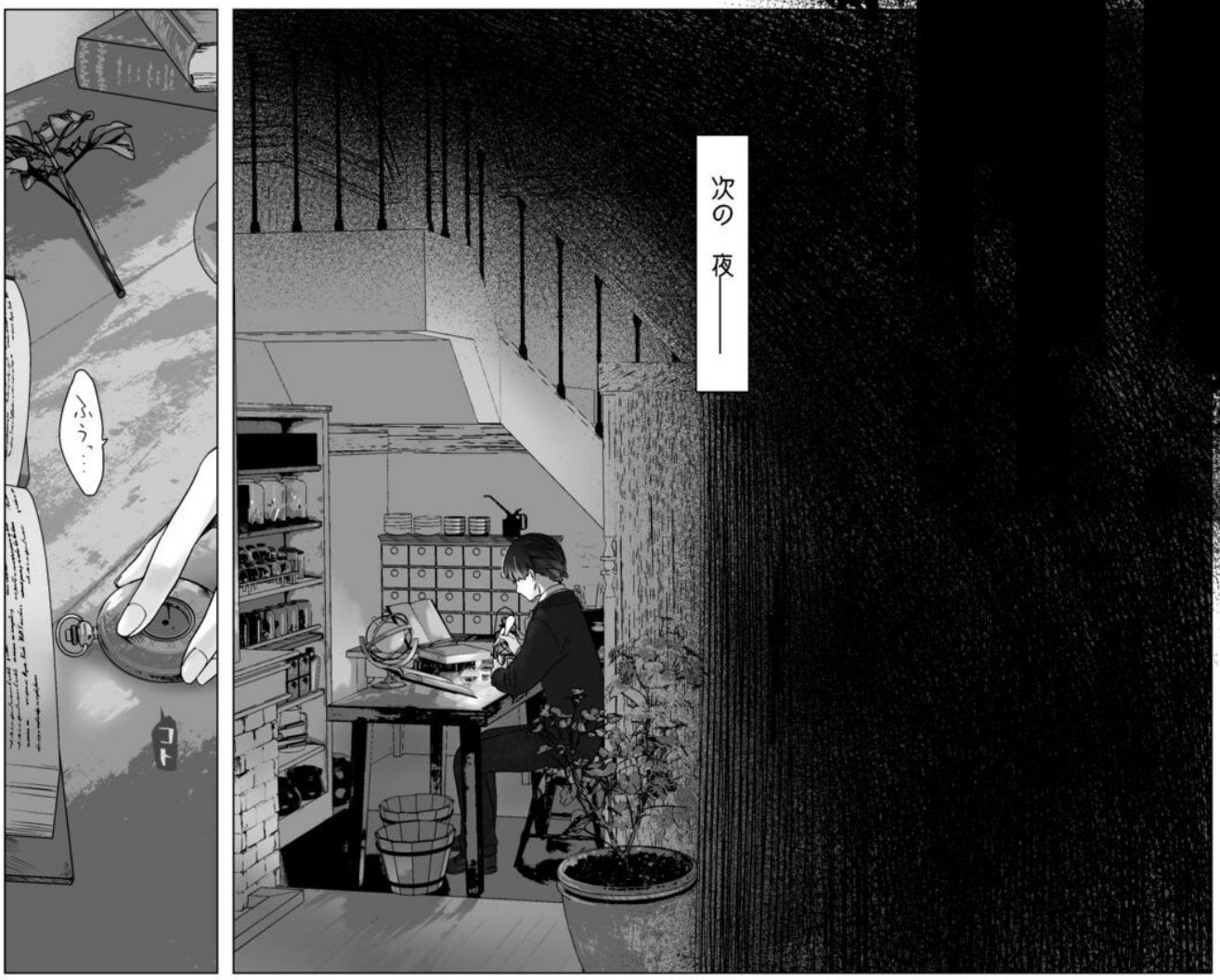
君が
望むことは
僕が
叶えるから

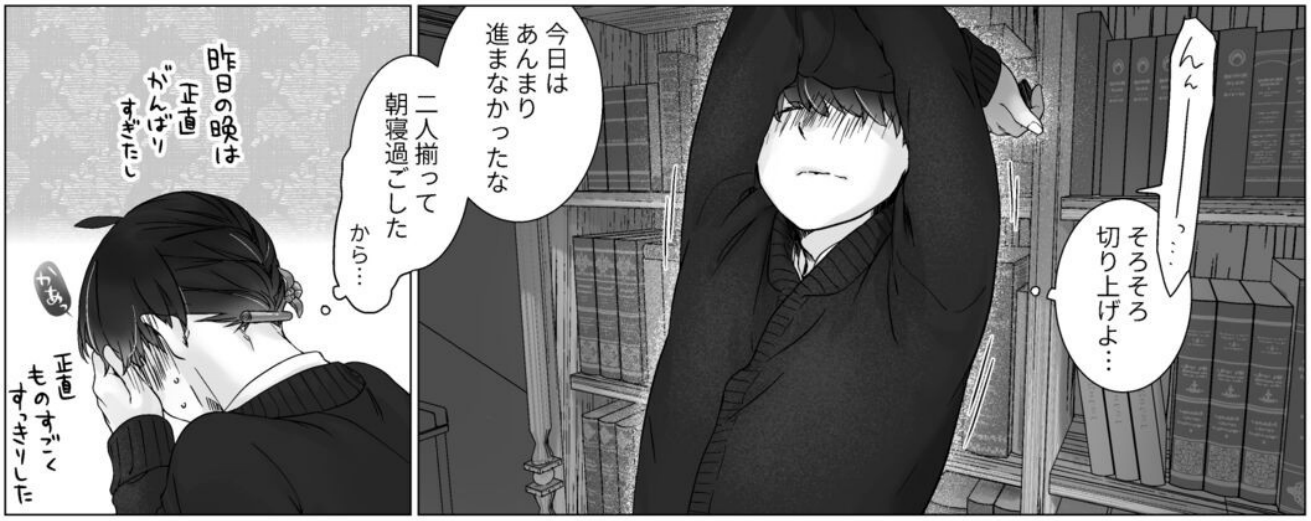


その代わり

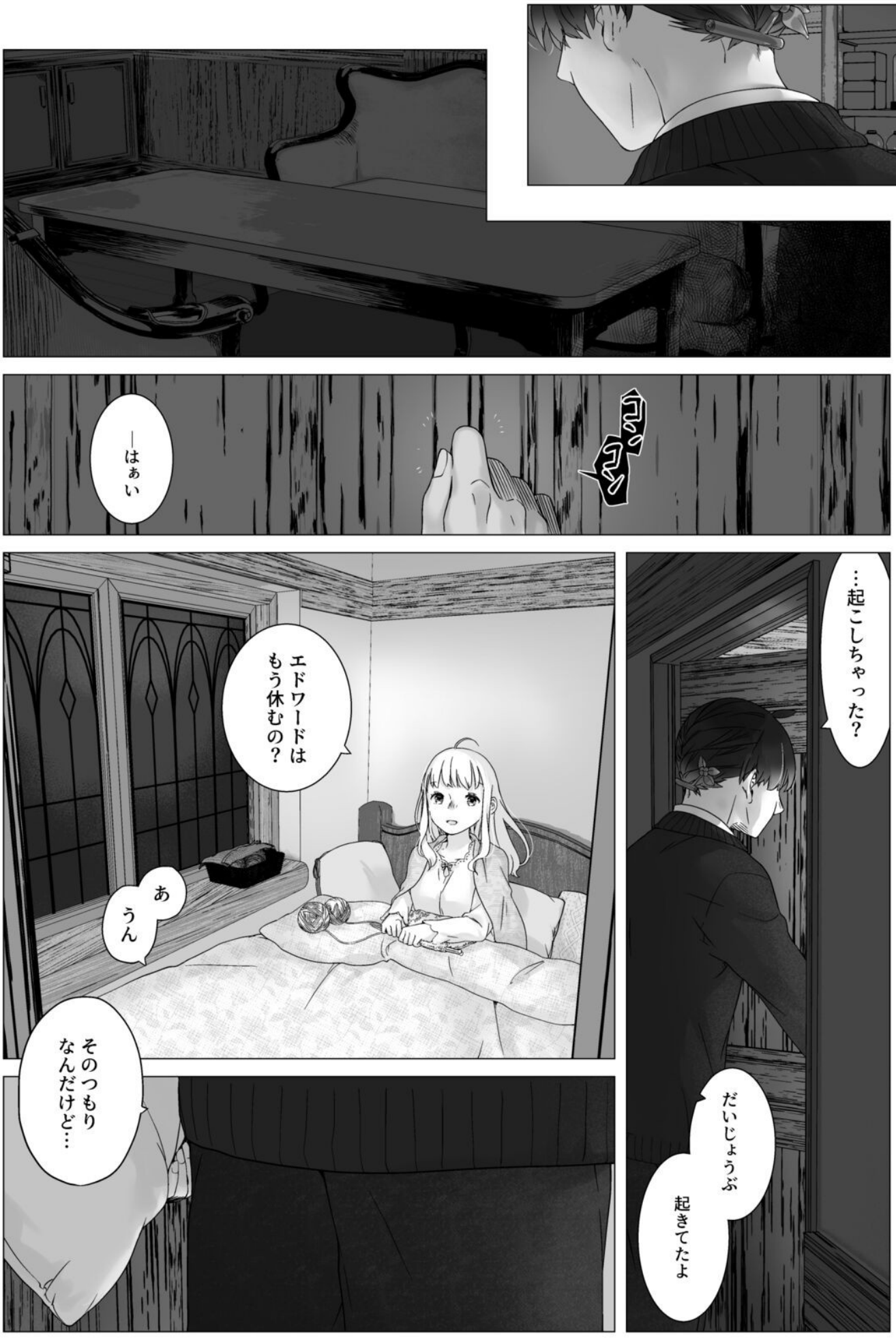



はぁ♡
あ♡
はぁ♡
あ♡
はぁ♡
ふ♡
ん♡
ん♡
ん


次の夜——
ふう…
コト

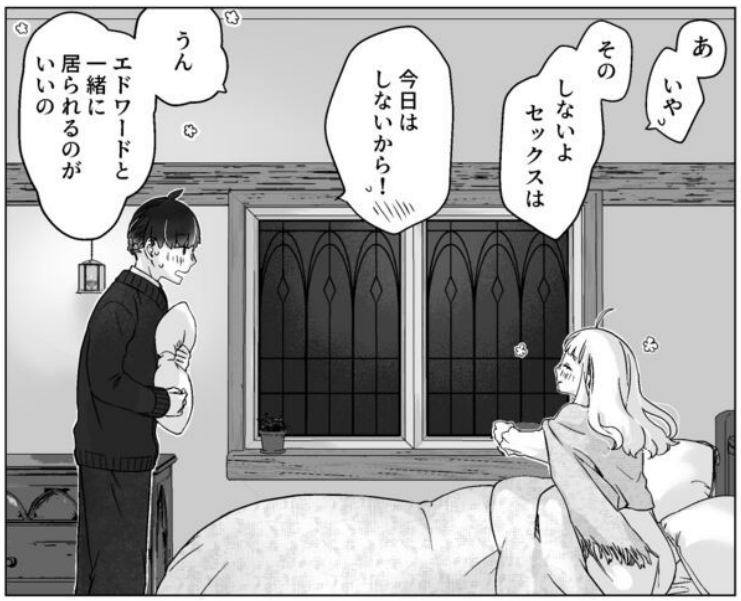

んん——
そろそろ切り上げよ…
今日はあんまり進まなかったな
二人揃って朝寝過ごしたから…
昨日の晩は正直がんばりすぎたし
ああ
正直ものすごくすっきりした


今から眠れるかわからないけど
休もうか…
カタ

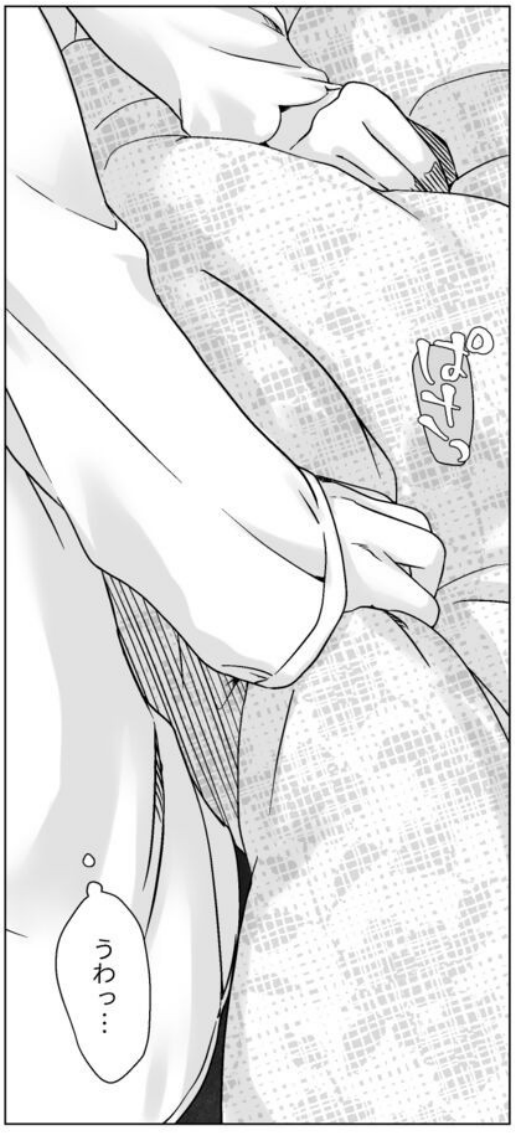

コンコン
―はぁい
…起こしちゃった？
だいじょうぶ
起きてたよ
エドワードは
もう休むの？
あ
うん
そのつもり
なんだけど…

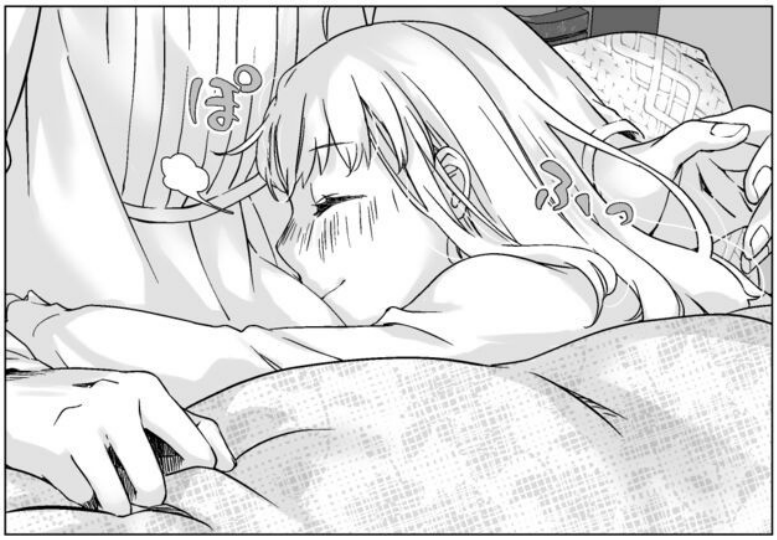

一緒に
…寝ない？
できれば
明日からも


うん
ぱ
あっ
うんっ
いいよ


あ
いや
そのしないよセックスは
今日はしないから！
うん
エドワードと一緒に居られるのがいいの


もう…!!

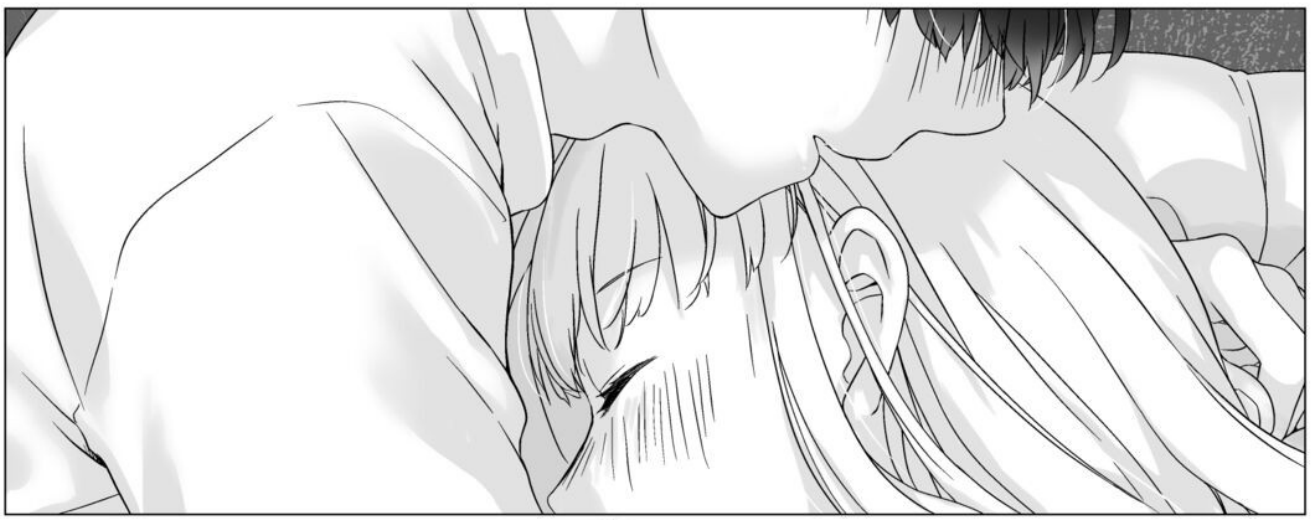

ぱさっ
うわっ…









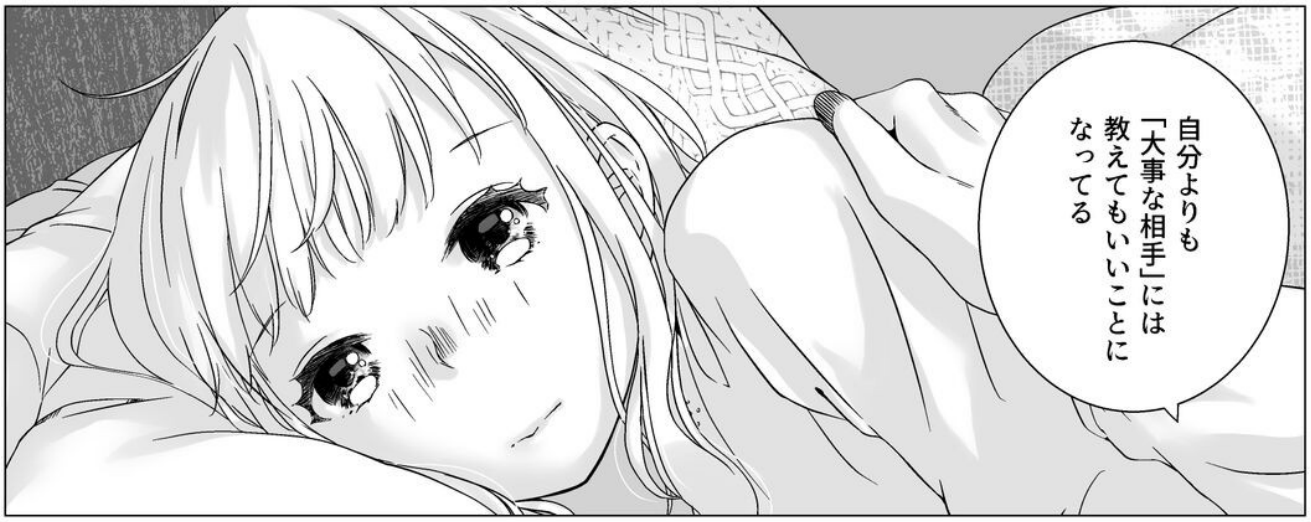


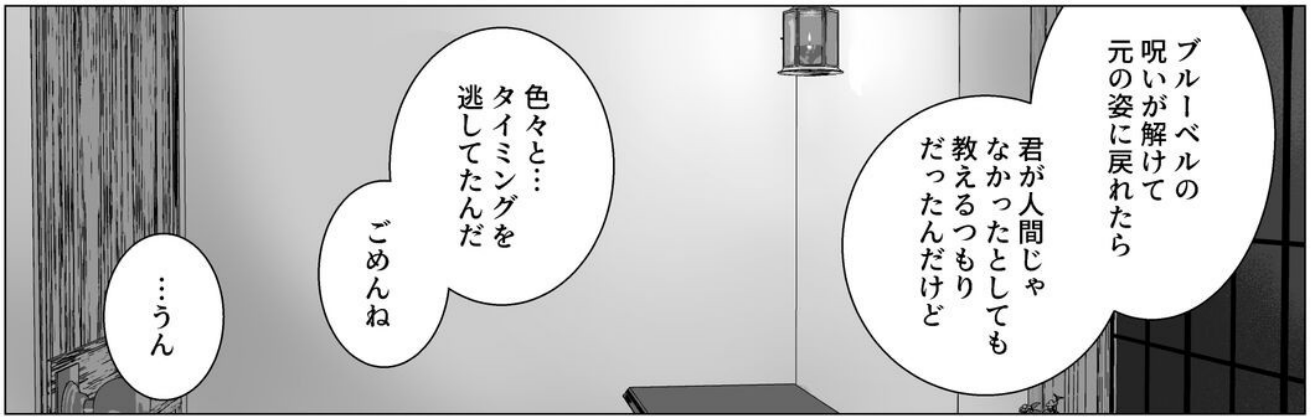
エルウッド
"Elwood"




…僕の
本当の名前
「魔法使いとしての名前」っていうのかな


"Edword(エドワード)"っていうのは人間の社会で暮らすための僕の仮の名前なんだ
魔法使いの本名は原則的に外部には隠すものになってて
知ってるのは血縁や同属の魔法使い
あと


自分よりも
「大事な相手」には
教えてもいいことに
なってる

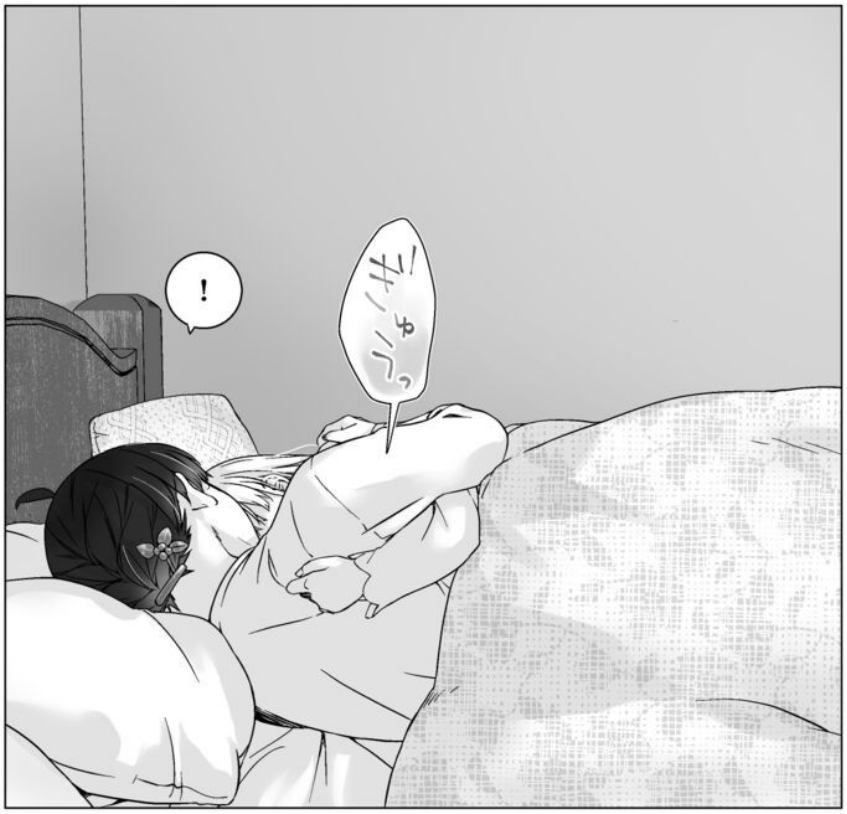

ブルーベルの
呪いが解けて
元の姿に戻れたら
君が人間じゃ
なかったとしても
教えるつもり
だったんだけど
色々と…
タイミングを
逃してたんだ
ごめんね
…うん


君の呼び名を
〝ブルーベル〟に
したのは
僕が〝エルダー(エルウッド)の木〟
だから
同じ植物の名前で
お揃いにしたくて
君を見つけた
場所に咲いてた
青い花の名をつけた
子供の
幼稚で単純な
発想だけど


ああ
でも
他の人に知られちゃ
いけないから
これからも
〝エドワード〟って
呼んでもらうことに
なるけど
でも
僕の
この名前を
君に覚えていて
欲しいんだ


――うん
絶対に
わすれない


…ありがとう


！
ぎゅっ


ぎゅっ
…
ほんと
意志が
弱いな
僕…
やっぱり
今日も
…していい？


昨日は
きかなかったのに…
う
んー
いいよ
エドワードの
好きなだけ


しよ。



見習い魔法使い君の月の夜

The Apprentice Wizard is on the moonlit night.

おまけ

Moreover

・見習い魔法使い君と初めての恋人

前作『見習い魔法使い君と花の名前』の本編直後くらいのお話

・本日の師匠は子猫

ちょっとした日常小ネタ

・見習い魔法使い君とその師匠

今作『見習い魔法使い君の月の夜』の本編直後くらいのお話

おまけ「見習い魔法使い君と初めての恋人」




ブルーベル
あ
お茶
淹れなきゃ
！
……はい。

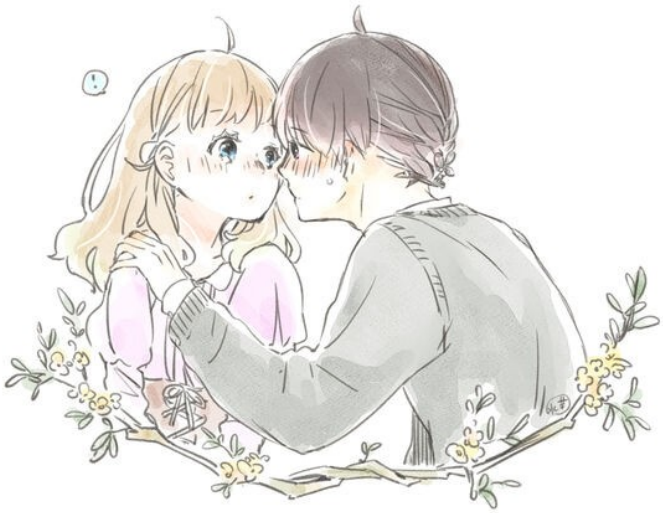



…えへへ♡
ありがとー


じゃ
お茶
淹れるね
うん
すぐ行く
から




…ねえ
世間の
恋人たちって
こんな
幸せで
恥ずかしいこと
してるの!?
くわあああああ
みんな
すごいね!?



おまけ小ネタ　「本日の師匠は子猫」





『見習い魔法使い君と花の名前』予告イラスト

おまけ「　見習い魔法使い君とその師匠　」




これは仮説だけれど
胎内にお前の子を宿すことで
ブルーベル（あの子）に長期的に安定した魔力供給が出来る可能性がある
それは…
…いえやってみないと
わからないことですけど…
――ただし
〝魔法使い〟が〝人間の娘〟との子をもつということは
お前自身の魔法系統の純血を遺せない
つまりは
お前の今後の〝魔法使い〟としての立場〟を考える必要がある
けどまあ



これまでと
同じ

ブルーベルが
居てくれるなら

僕は





……

月に数日間？

…はい

彼女は

へいきだよー

って言うん

ですけど

心配で

…ああ…

（察し）

本当に
お前には
10代の頃に
女を覚えさせて
おくべき
だった…

ごめんよ

そ！

そんなの
無理だったんです
僕には！

誰にも
相手にして
もらえなかった
ですから!!

本気で
謝らないで
下さい!!

ブルーベルの
世話を
最優先に
しすぎたんだよ

そうした
ことだって
後悔してない
くせに

…そうです
けど！

ブルーベルの
不調の理由は
本でも読んで
自分で
調べなさい

本で…？

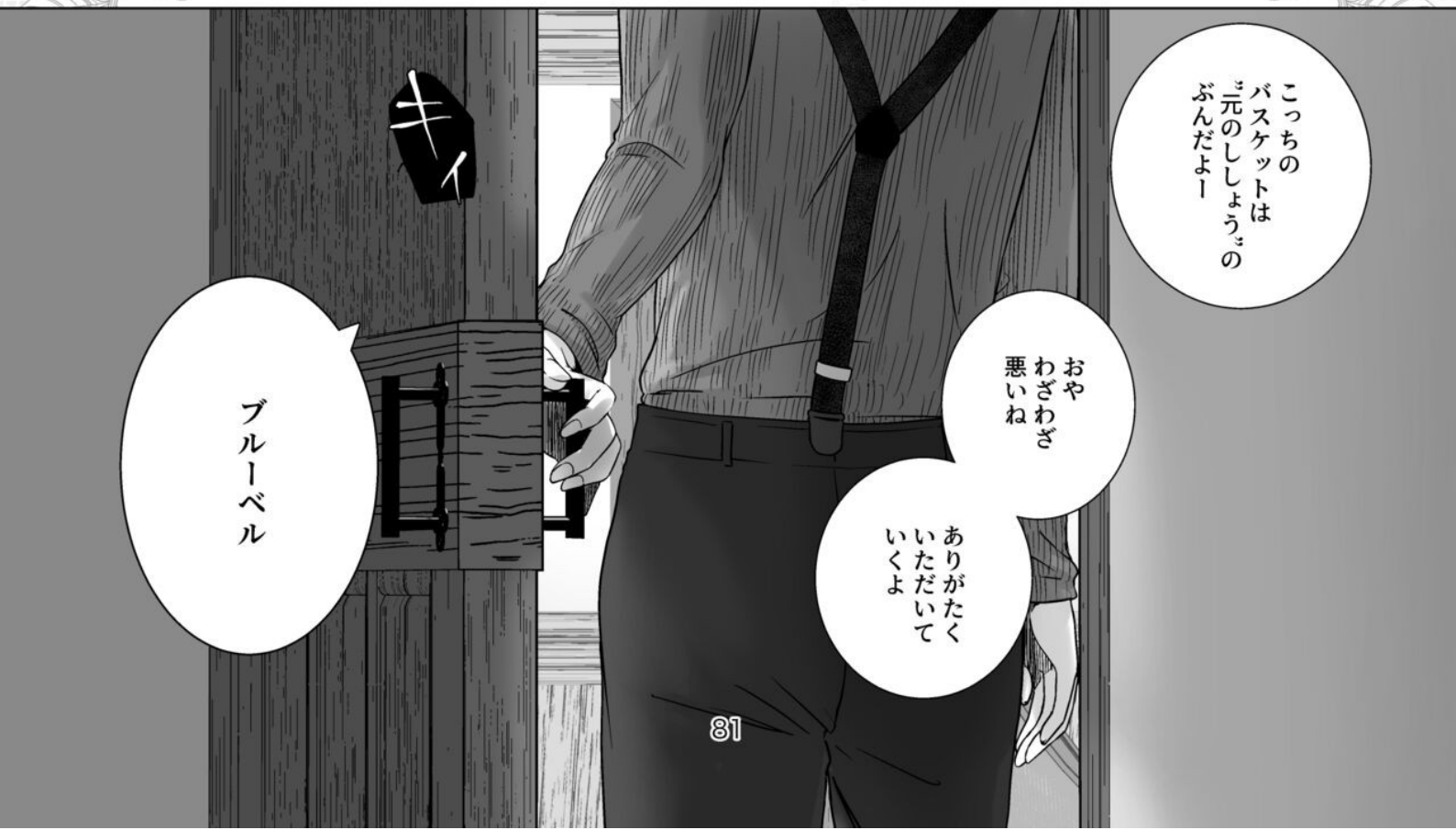
載ってる
から

医学書あたりに

コン


エドワードー
ししょー
ごはんの
じかんだよー
あ
うん
今行く
とん
ま
私の仮説は
伝えたから
あとは
お前達
次第だよ
—ありがとう
ございます
いつも
有益な
仮説です

…ブルーベルと　　僕の


こっちの
バスケットは
〝元のししょう〟の
ぶんだよー
おや
わざわざ
悪いね
ありがたく
いただいて
いくよ
キィ
ブルーベル



僕達の
未来のことを



話そう

END

蛇足的なあとがき

Extra Afterword



でてきたひとたち
Character and Supplement
と、設定の補足

エドワード



本物じゃなくて
金細工みたいなの



見習いの魔法使い。

本名の“エルウッド”は
エルダー（セイヨウニワトコ）
から付けられている。

←初期の案出しラフより

エドワードの髪飾りは
エルダーの木がモチーフに
なっている。



挿してあるけど
基本不思議な力で
固定されてる感

この世界では、
魔法使いは人里離れた場所に
集落を作って生活しているが、
エドワードは魔力などの性質が
特殊な事もあり、
魔法使いの集落からは離れて
人間の生活圏に近い場所で
暮らしている。

そのため、
偽名である“エドワード”のほうを
主な名前として使用している。

師匠

今回はちょっと
出番が少なめ。

※今作の「けち」発言の補足
情事を勝手に覗きはしないけど、
偶然現場に遭遇した場合は
弟子のセックスは
どんなもんなのか
見てやろう的スタンス。

やはり偏屈。

ブルーベル

現在は普通の人間の状態に
戻っている。

魔物に呪われる前の記憶は
あまり残っていないが、
幼少期に家の手伝いを
していたようで、それが
肌感覚的に残っていた。
一通りの家事ができるように
なろうと頑張っている。

前作でエドワードが魔法で
着せてくれた服を
再現しようと奮闘中。





サキュバスさん

今作中では
実際に存在するサキュバスを
師匠が召喚したわけではなく、
サキュバス(概念)を具現化したもの。

概念ではあるが、
普通に性的に襲ってくる。

師匠いろいろバリエーション





没ネタ①「無防備すぎるブルーベル」

初期ラフは
前髪が長めなブルーベル

今より3倍くらい
おっとりしていました。



没ネタ②「そんなこと言わないで」

まさか女の子側から
言われるなんて
思ってないから！(恥)

描いた人のごあいさつ

はじめましてのかた、あるいはいつもお世話になっておりますのかた、
こんにちは。青色観測所です。

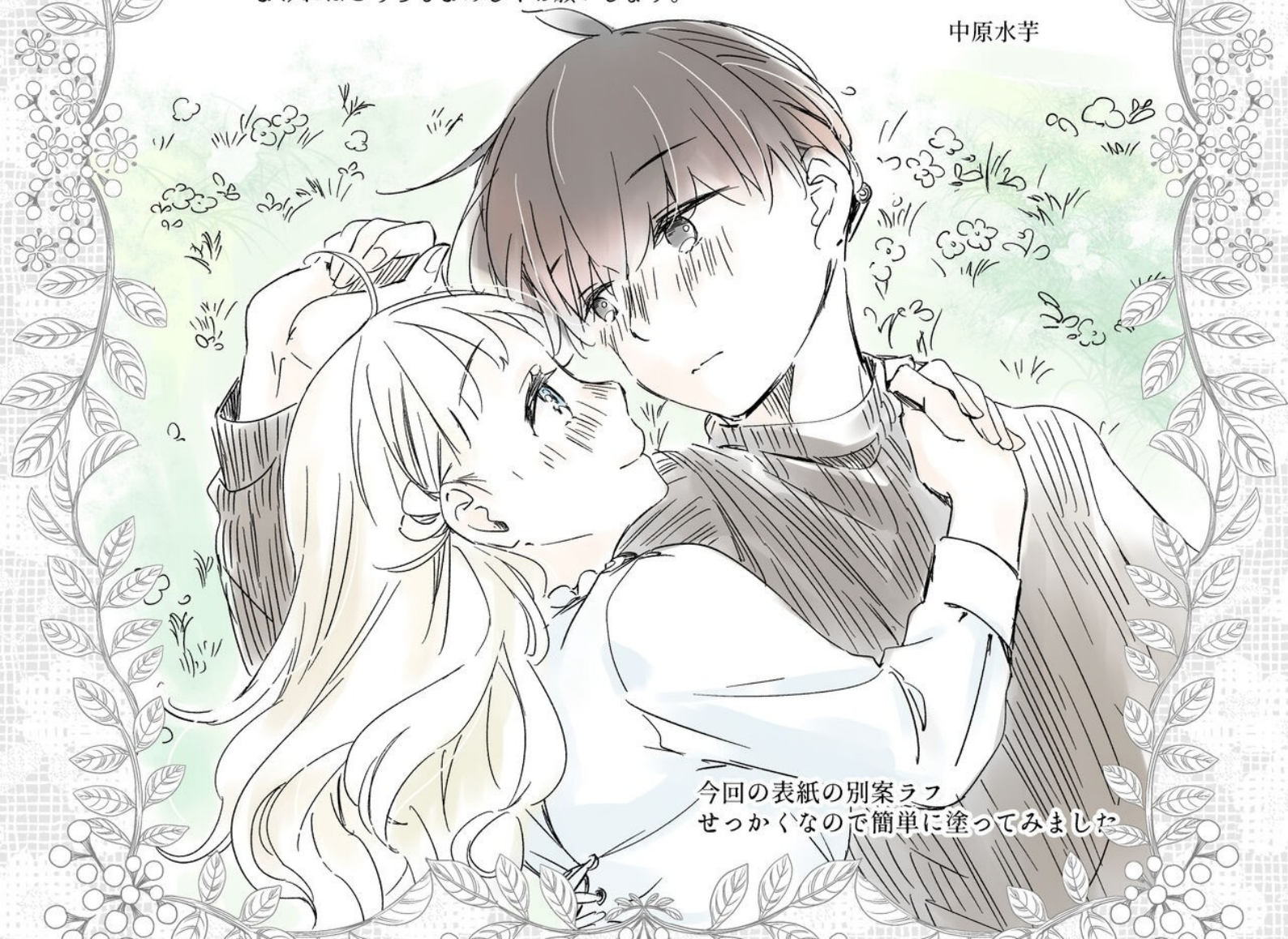
「見習い魔法使い君の月の夜」をお読みいただきありがとうございます。

前作から一年以上かかってしまいましたが、
ようやく皆様にこのお話をお届けできました。
ずっと待っていて下さったかた、本当にありがとうございます。

エドワードとブルーベルの新しいお話、
楽しんでいただけたなら幸いです。

作者の個人的な事では、2023年は初の商業漫画のお仕事をいただいたり、
まさかの単行本を出していただいたりしていました。
よければこちらもよろしくお願いします。

中原水芋



今回の表紙の別案ラフ
せっかくなので簡単に塗ってみました

Special thanks

ご支援・応援してくださった皆様
長らくお待ちいただいた皆様

見習い魔法使い君の月の夜
（みならい まほうつか くん つき よる）

サークル/ 青色観測所
発行人　/ 中原水芋
発行日　/ 2023年12月1日
連絡先　/ three_taimocroquettes@outlook.jp
X　　/ @imomizuimo

本作の内容は全て、無断転載・複製・複写・
インターネット(WEB・ブログ・SNS等)上への掲載を禁止します。

Unauthorized reproduction, duplication, alteration,
and posting on the Internet (web, blog, SNS, etc.) of all the contents
of this work are prohibited.

本作品はフィクションです。
登場する人物や地名などは、実在するものと一切関係ありません。

